

地域貢献評価報告書

2007～2008年度

諏訪東京理科大学
地域貢献評価委員会

はじめに

本学は、「工学と経営学の融合教育」で、エンジニアリングとマネジメントを総合的に学び、人間性及び創造性豊かな有為な人材を育成するとともに、地域住民の生涯学習と地域企業の技術力・経営力の向上に寄与することを目的として人材育成に取り組んで来ております。

平成 18 年 3 月に第 1 期の卒業生を送り出して以来、平成 21 年 3 月に第 4 期の卒業生まで地元長野県での就職をはじめ、連続して 97%を越える就職率で社会に送り出すことができました。さらに、平成 18 年度に設置された大学院も社会人特別選抜制度の導入以来、企業からの入学の外、自治体や商工会議所からの派遣もあり、地域との交流が活発化されています。

特に地域への貢献活動として、地域住民に対しては大学施設の開放や「出前授業」、駅ビル内に新たに開設した「茅野・産業振興プラザ」のサテライト教室を使ったセミナーや公開講座の開催、また、地域企業とは共同研究等、産学公連携事業を積極的に推進・支援する体制を整え、地域に開かれた大学づくりを教職員一同、努力しているところでございます。

このたび、信州大学工学部、遠藤守信教授はじめ 7 名の委員の方々には大変ご多忙の中、本学が行った平成 19 年、20 年度の地域貢献活動について点検・評価をいただき本報告書がまとまりました。委員をお引受けいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

今後とも、より一層地域に開かれた大学として様々な事業を展開し貢献してまいる所存でありますので、何卒よろしくお願いいたします。

諏訪東京理科大学

学長 片 岡 寛

委員評価

『諏訪東京理科大学の地域貢献』に関する点検評価

委員長 遠藤守信
(信州大学教授)

諏訪東京理科大学は長野県民の大きな期待を集めて建学され、大学の理念に『地域社会との連携』が高く謳われている。開学7年を経てその存在感を確立すると共に、地域社会への貢献を強く意図した活動が県民の心を捉え大きな存在となってきています。建学の精神である“理学の普及をもって国運発展の基礎となす”との本分を追求しつつ、“工学と経営学の融合”を目指した教育、研究の推進は特色ある大学として有為な存在になっています。また建学以来掲げてきた地域貢献が所期の目標に沿って推進されているかについて、継続的に点検することは当大学のさらなる発展に向けて重要であります。すなわち特色ある大学として改めて開学の理念に立ち帰って評価点検を実施しつつ、さらなる発展に資することの意義は言を俟ちません。

ここでは現在までの当大学の地域連携に対する取り組みについて、主として

- (1) 地域における教育分野への貢献、
- (2) 生涯学習など地域社会を対象とした活動、
- (3) 産学公連携の推進、
- (4) 地域社会への大学施設の開放、

の諸点について点検致しました。総じてこれらの項目については十分高く評価される活動を展開されており、地域貢献が継続的に取り組まれ成果を上げていると判断されました。そして地域との連携を強化しながら地域と共に発展を目指す姿勢が一層明確になっており、当大学の地域貢献活動は高く評価されます。

まず、(1)、(2)の地域における教育分野への貢献ならびに生涯学習など地域社会を対象とした活動については、学内組織である生涯学習センターを中心に各種事業が展開されており十分高い成果を上げています。小中高校への出前授業も県内くまなく実施されており、当学教員の特色を生かした科学技術から社会科学分野までの広い領域で実施されています。これらの授業はテーマも適切で、高く評価できます。独自の事業であるサイエンス夢合宿は当大学のユニークな取り組みであり全国的に見てもレベルの高い事業であり、重要な活動で高く評価されます。今後も継続的した取り組みが期待されます。高大連携もスタートし充実した活動として発展していますが、これが県内の広範な高校を対象に一層、広がっていく事を期待したい。

(3)の産学公連携の推進については、地域コンソーシアム推進協議会

が中心となって積極的に事業が実施されています。当学の教員の貢献も地域に定着し、その活動は高く評価され実績も上がってきています。地域社会との連携は教員自身の教育研究活動に対して直接的な成果を即効的にもたらすものではなくややもすると消極的な取り組みになってしまう傾向が出がちですが、組織的に社会貢献活動として意欲的な取り組みがなされている点は高く評価されます。教員の講演会、自治体委員等への派遣による地域連携もなされ、地域社会からの賛辞や信頼の声もしばしば聞かれる所であります。かかる活動に対して地域の評価が高まっている点は極めて重要であり、引き続き積極的な活動を期待したい。そして今後、これらの実績をもとに地域連携で国の競争的資金を得てのプロジェクトに発展することも望まれます。

(4) の地域社会への大学施設の開放については、地域の要望を十分に満たしたものとなっており、大学ご当局の積極的姿勢が反映されています。地元社会とより一層強固な連帯感を築き、地域の発展にも機能していただきたいと念願致します。

卒業生の県内への就職割合は半数を超えて高く、高等教育機関として地域への責任ある貢献を果たしています。また他大学の大学院課程への進学もあり、高いレベルの教育が実施されています。以上から見て総体的に地域貢献については、教職員の意欲的かつ責任ある取り組みが展開されており、その実績は高く評価されます。かかる大学と教員の取り組みを高く評価し、そしてこれが大学自身の発展につながるよう期待いたします。そして地域社会から大学への積極的な支援となって、大学と地域の双方の発展に結実していく事を強く念願致します。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価

長野県教育委員会教育次長 平澤武司

はじめに

ものづくり立県である長野県にとって人材の育成と定住は大きな願いでありまた課題となっています。その願いを具現すべく諏訪東京理科大学は開校以来、「急速に発展する科学技術に対応し、自ら将来を開拓できる実力ある人材の育成」、「地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献」を理念に据え、地域との連携を重視しながら未来の日本を背負う若者の育成に邁進してきました。以後経営や運営の改善を図りながら多くの成果をあげています。そのなかで、下記の4点について評価します。

1 県内学生の受け入れ

入学者の地域別分布状況によりますと、長野県出身者が平成19年76.3%、20年度83.2%で高い割合を占めています。このことは、ともすれば都会に憧れる長野県の高校生にとって、諏訪東京理科大学が魅力ある大学となっている証しとなっていると思います。更に今後、教育課程の一層の見直し、少子化やグローバル化に対応した取り組み、就職状況のPR等に努め、県内全域はもとより全国各地からの入学生獲得のための努力を期待します。

2 生涯学習への対応

生涯学習センターが中心になり、小・中・高校生及び地元自治体や各種団体に対して体験的な学習する時と場を設け、科学への興味関心を高め、科学的なものの見方や考え方を深めています。理科離れがすすんでいるとも言われます。その中で出前授業、公開講座平成19年度が100講座余、平成20年度が130講座余と年々充実し地域の期待に大きく応えています。今後、一層多くの市町村や各種団体、大学と連携し県民の願いに応えていただくよう期待します。

3 大学施設の開放

地域の文化の拠点、情報発信センターの中心的な役割を担っています。一例として平成17年度に比べ、平成20年度の図書館利用者は6倍近く増えています。また、地元茅野市の情報プラザとして研修会や会合場所として提供し、地元の情報発信基地として大きな貢献しており、ますます市民との交流を期待します。

4 産学公連携について

諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会を設け、諏訪地域にある企業のニーズを的確につかみ、連携を密にしながら製品の共同開発、地元企業の若手技術者の育成やマネジメント力の向上に努めていることは特筆すべきことです。特に、信州産学官連携機構の設立、諏訪県工業メッセ、山梨テクノフェアの企画運営等、身近な頼りになる大学として地域にとって頼りになる大きな存在になっている。一層の連携を期待します。

むすびに

急速に進む少子高齢化、都市と地方の格差の拡大等に加え、平成 20 年秋からの世界経済を襲った景気後退の荒波を受けて県内の経済はかつてないほど厳しい状況に陥っています。6 月 30 日現在、長野公共職業安定所発表の長野県内の有効求人倍率は 0.48 倍、総務省発表の完全失業率は 5.2%であり深刻な状況になっております。このような時こそ、地域に腰をすえ未来を担う人材の育成をめざしている貴大学に寄せる期待はますます大なるものがあります。

茅野市長 柳平 千代一

諏訪東京理科大学の設置理念の一つとして「地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献」することが掲げられていますが、本市では平成 21 年度から職員研修の一環として、諏訪東京理科大学工学・マネジメント研究科大学院に職員を入学させることとしました。専門的な実務能力や政策形成能力を高め、これからのまちづくりの核となる職員を育成することが目的です。まちづくりを進めるためには今、地域経営の視点が欠かせません。地域の「ひと、もの、かね、情報」、あらゆる資源を有効に活用して、最小の経費で最大の効果を上げていくことが求められています。職員のマネジメント能力の養成のため、貴大学との連携に大いに期待しているところです。

(1) 県内学生の受け入れについて

志願者数と入学者の地域別分布状況をみると、長野県内の志願者と入学者の率は、平成 19 年度が 64.2%と 76.3%、平成 20 年度が 68.6%と 83.2%になっており、大学入学に当たって地元を選ぶ傾向がうかがわれ、公私共同方式で設立された貴大学の所期の目的は達成されているものと思います。

なお、この一方で全体として志願者数、入学者数の減少が気になるところです。志願者増のためのさらなる努力を望みます。

(2) 生涯学習への対応について

生涯学習センターを中心とする出前事業、高大連携、SSH等の事業が広範に行われていることを高く評価します。

また、21 年度に、茅野市、茅野商工会議所・諏訪東京理科大学が連携し、企業間連携、産学公連携の推進とともに、産業創造の拠点として、「茅野・産業振興プラザ」が茅野駅ビル 2 階にオープンしました。この産業プラザを拠点にさらなる生涯学習の展開がされることを期待しています。

(3) 大学施設の開放について

地域のイベントに大学施設を開放していただいていることに感謝申し上げます。特に、茅野市情報プラザは、茅野市が進める地域情報化施策のための最も重要な拠点施設として位置づけさせていただいています。

(4) 産学公連携について

地域コンソーシアム事業の推進による産学公の連携が積極的に行われている。産学共同研究開発、異業種間の交流による地域産業の振興、情報化の促進等、諏訪東京理科大学の地域貢献に対する住民の期待は、誠に大きいものがあります。今後、さらに諏訪東京理科大学と連携を図り、大学を核とする産々、産学、産学公など様々な連携により地域振興を積極的に推進していきたいと考えています。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

諏訪清陵高等学校長 篠原 秀郷

高等学校の立場から、貴学の地域貢献について考えます。

1 県内学生の受け入れについて

県内公立高校からの入学者数は、平成19年度193名(76.3%)、平成20年度198名(83.2%)であり、就職内定者の地元定着率の高さとともに『地域社会との連携』の建学理念を実現しています。

経済不況下の今日、家計負担を軽減しつつも将来の職業に直結する知識や技能を子供に身につけさせたい家庭が増加しています。少子化の進行による影響は深刻ですが、この点で高校との協力関係を更に強化し、入学後の単位認定等を含む高大連携を拡大していただきたいと思います。

2 生涯学習への対応について

出前授業、高大連携(茅野高校、岡谷工業高校)、SSH協力(諏訪清陵高校)、タイアップ講座(中野立志館高校)等、実に多くの高校が様々な形で貴学の知的財産を活用させていただいており、感謝致します。

先端の知識や技術、新しい発想に富んだ実験は、高校生の日常的な学習観を揺さぶり、感性を育てるとともに大学における学問研究の強い動機づけとなっています。また、小中学生への働きかけは、貴学に対する信頼や地元経済への波及効果の点で、将来必ず成果を見るものと信じています。

3 大学施設の開放について

整備された環境と、高度な器具や器材を駆使した授業に参加することは、高校生にとって新鮮な体験であり、より一層大学における学問研究の強い動機づけとなっています。

SSHを展開する諏訪清陵高校では、指定を受けた初年から貴学と連携し、運営委員としてご尽力いただいております。

特に貴学の施設では、SSH講座に属する生徒達が数学理論を学び、天文気象部をはじめとする理科系クラブが、研究や実験を高いレベルで指導いただいております。

4 まとめとして

以上に述べたとおり、貴学で「地域貢献」として現在行われている有形無形のご支援は、『地元の子供を地元で教育する』という学校教育の本道をより充実させる貴重な仕掛けであり、地元の経済社会や文化、生活に安定と活力を生む源泉であると評価できます。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

長野県経営者協会 諏訪支部長 野村 稔
(野村ユニソン株式会社 代表取締役)

1. はじめに

この度、地域貢献評価委員会からの依頼を受けて、事業経営者及び長野県経営者協会役員としての立場から、諏訪東京理科大学の設置理念にある「地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献」の具体的な活動実施状況について、以下 4 項目の観点から評価を致します。

2. 評価する項目

1) 県内学生の受け入れ

直近 3 年間（H16～18）の入学者地域別分布状況を拝見すると、甲信越地域からの入学者数は全体の 80%前後、また長野県内に絞っても 75%前後という高い水準で推移しており、「地域・長野県内からの学生受け入れ」という点に関しては着実に実績を上げていると判断致します。

しかしその反面、全体の入学者数は 20%以上低下しており（H16 年 352 人→H18 年 272 人）、少子化の影響を大きく受けているものと推測します。一定の教育水準を維持していくために、学生数の確保は必須の課題であると考えます。今後の長期的トレンドを踏まえた上で既存施策の段階的見直しを進めて頂く必要があるのではないのでしょうか。

2) 生涯学習への対応、3)大学施設の開放

情報プラザ・生涯学習センターを中心とした生涯学習への取り組みは、適切な内容と豊富なカリキュラムを有しており、高く評価できると考えます。長野県経営者協会では活動理念の一つとして「終生学習」を掲げておりますが、実際の活動を進めていく上では、このような学習拠点の存在が欠かせません。また地域住民の方の図書館・グラウンドなど設備利用も進んでおり、今後、地域の学習活動拠点としての位置づけが、より一層高まる事を期待致します。

3) 産学公連携

産学公連携は長野県経営者協会においても産業振興の要と位置づけ、活動促進を支援しております。諏訪東京理科大学での地域コンソーシアム推進協議会を中心とした他機関との産学公連携事業は、工学/経営学両分野で多方面に及んでおり、今後の更なるスピーディな活動推進と成果創出を期待致します。

3. おわりに

少子高齢化、地域経済の停滞など、現在私たちを取り巻く環境は大きく変化し続けており、決して楽観できるものではありません。大学の運営においても、そうした社会環境の変化を踏まえた独自性の構築が求められる段階であると考えております。

「地元企業の技術力・経営力の向上に貢献」に向けた提言として、地域産業界の一員として意見を述べさせて頂けるのならば、例えば「ものづくり分野の基礎教育徹底」などは期待の大きい分野の一つです。

現状では、設計を学んできた学生を雇用しても、例えば設計者が理解しておくべき金属加工の基礎知識が不足しているため、再度社内にて教育を施さなければならない、といったケースがあり、多くの企業で人材育成の課題となっています。新入社員にも即戦力としての活躍がもとめられる状況の中で、そうした課題へのソリューションが提供されることは多くの企業の望んでいることであると考えます。

地域随一の人材育成/文化活動拠点として、諏訪東京理科大学に対する地元を含めた内外からの期待は大変大きいものがあります。今後、より一層のご活躍を期待致します。

以上

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

長野大学 教授 安井 幸次

2007～08年度の諏訪東京理科大学の地域貢献に関わる資料を拝読いたしました。「工学と経営学の融合教育」という特色を活かしつつ、「地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献する」との基本理念を具体化して、多面的な実践をされていることに敬意を表します。

以下、資料のみでは読み取れないこともあります、いくつかの点についてコメントいたします。

- ①生涯学習センター事業では、高校生や住民等を対象とした「出前授業」に力を入れておられることが伺えます。また、小学生の親子を対象とした「サイエンス夢合宿」のようなユニークな講座も開設されていることも特徴です。これらの「出前講座」を担当する教員数も、2005～06年度では専任教員全体の30～40%程度でしたが、今回は60～70%に増加し、大学の多様な人材を活用した全学的な取り組みとなっていることが評価されます。
- ②産学公の連携による「地域コンソーシアム協議会」の活動は、諏訪東京理科大学の地域貢献を特色づける取り組みであると評価できます。工学と経営学の両面での成果が期待されます。
- ③「地域の匠のアドバイスを受けながら、学生が自ら考え、創造する場所」として設置された「ものづくり工房」の活動を注目していましたが、資料からはその内容を知ることができず残念です。現在、ものづくり技術の継承が重要な課題となっていますが、地域の「匠の技」を大学で活用し、学生がそれを学んでいく試みは、現代的な課題に沿うものであり、その成果が期待されます。
- ④これも資料を拝見するかぎりでは、学生の地域貢献には課題があるように思われました。学生の地域活動への参加のみならず、地域を教育・研究のフィールドとして位置づけた取り組みを強めていくことが望まれます。
- ⑤現在、長野県には8つの4年制大学がありますが、大学進学者のうち、県内大学への進学者は16%に過ぎず、約80%が県外の大学に進学しています。大学生の県外流出率が高い県の1つです。このような状況に対して、県内の大学が、それぞれの個性を活かして取り組んでいる教育・研究・地域貢献の活動について交流し、県内の大学全体の魅力をアピールしていくことが共通の課題となっているように思われます。そのような意見交換の場が創られることが望まれます。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価と期待

諏訪地区 PTA 連合会会長 今井 仁志

理科系を目指したことがあるものからすれば、東京理科大学は憧れの大学のひとつでした。その大学が諏訪の地にあるということで、大学にとっても諏訪の子供たちにとっても双方に大きなメリットを生むことを期待するものです。

地域貢献の評価をといわれると、諏訪に大学があること以外は知らないでいたのが実情ですが、家に帰ってみると、子供の学校を通じて「サイエンス夢合宿」の案内が届いていて、貴大学がこの諏訪の地で地道に貢献実績を積み上げておられることを思わされました。

改めて、地域貢献評価のためにいただきました資料を見させていただく中で、小学生、高校生、保護者、教員、一般への生涯学習センター事業の実績、理系科目にとどまらず、経営・社会・語学にまで及ぶ出前授業の豊富さ、図書館・体育館をはじめとするキャンパス施設の地域への一般開放、身近にある大学がこのように地域にそしてこの地の子供たちのために献身的に活動していただいていることを、子を持つものとして大いに評価し、心よりお礼申し上げます。

また、4年制の大学として、ものづくりの地域と連携し、地域出身の学生の受け皿となり、またさらに就職、大学院進学の数的な実績(高い就職率、大学院への進学率)ものこしておられる点を評価するとともに、大学が地域を刺激して、人材を育て、その人材が地を支えていくこのような面での更なる発展を希望するものです。

少子化の中で、大学のあり方はその存在意義まで含めて非常に難しい時代になってきているかと思います。同時にこの諏訪の中等以降の教育には今、抱えている大きな問題があり、進学を希望する成績上位層を中心とする学生の県内外への流出という実態があります。さらに、子供たちは学ぶことと働くこと・生きていくことのつながりを見出せず学習の動機付けが難しいように感じます。

そのヒントが、貴大学の地域貢献活動の中に見出せるような気がします。地域の子供たちの学力と生きる力は地域がつけてあげられるように、貴大学におかれましては、地域に愛着を持って地域の課題にともに取り組んでいただけることを、心よりお願い申し上げます。

諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会資料

1. 説明資料

- 1 諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会規程
- 2 諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会委員名簿
- 3 諏訪東京理科大学の概要
- 4 諏訪東京理科大学運営組織図
- 5 諏訪東京理科大学の教育職員数と事務職員数
- 6 諏訪東京理科大学の入試・在学生・卒業生状況
- 7 諏訪東京理科大学生涯学習センター規程
- 8 諏訪東京理科大学生涯学習センター運営委員会委員名簿
- 9 諏訪東京理科大学生涯学習施設
- 10 諏訪東京理科大学生涯学習センター事業実績
- 11 諏訪東京理科大学地域交流状況
- 12 諏訪東京理科大学研究交流委員会規程
- 13 諏訪東京理科大学研究交流委員会委員名簿
- 14 諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会会則
- 15 諏訪東京理科大学共同研究施設
- 16 諏訪東京理科大学産学公研究交流事業実績

2. 参考資料

- 1 諏訪東京理科大学大学案内(省略)
- 2 平成19,20年度「出前授業」講座一覧
- 3 諏訪東京理科大学ゼミナール 2007,2008
- 4 諏訪東京理科大学地域貢献評価報告書(2005～2006年度版)
(省略)

說明資料

諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会規程

(目的及び設置)

第1条 諏訪東京理科大学（以下「本学」という。）の設置理念の1つとしてかかっている地域社会への貢献について外部機関による評価を行うため、学校法人東京理科大学業務規程（平成13年度規程第6号）第35条の規定に基づき、本学に、諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(評価事項)

第2条 前条に規定する目的を達成するための評価事項は次に掲げるとおりとする。

- (1) 本学の設置理念及び研究教育上の目的を達するために必要な事項
- (2) 本学の運営に関する事項
- (3) その他本学が特に必要と認める事項に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織し、委員は本学の学長（以下「学長」という。）が委嘱する。

- (1) 長野県知事の指名する者 1人
- (2) 茅野市長の指名する者 1人
- (3) 長野県内の高等学校長 1人
- (4) 長野県内の企業の経営者 1人
- (5) 学識経験者 若干人
- (6) 諏訪圏域の住民 1人

2 委員会に委員会の委員長（以下「委員長」という。）を置き、委員長は委員の互選によって定める。

3 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代理する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員会の同意を得て委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員会が定める。

(学長への報告)

第6条 委員会において審議した重要事項は、学長に文書で報告するものとする。

(結果の公表)

第7条 学長は、委員会から報告書が提出されたときは、必要に応じて意見を附した上で、原則としてこれを公表するものとする。

(事務処理)

第8条 委員会の事務は、諏訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会委員名簿

職 名	氏 名	備 考
長野県教育委員会教育次長	平 澤 武 司	第3条第1項第1号による委員
茅野市長	柳 平 千代一	第3条第1項第2号による委員
長野県諏訪清陵高等学校長	篠 原 秀 郷	第3条第1項第3号による委員
長野県経営者協会諏訪支部長	野 村 稔	第3条第1項第4号による委員
信州大学工学部教授	遠 藤 守 信	第3条第1項第5号による委員
長野大学環境ツーリズム学部教授	安 井 幸 次	第3条第1項第5号による委員
諏訪地区PTA連合会長	今 井 仁 志	第3条第1項第6号による委員

諏訪東京理科大学の概要

1. 設置

諏訪東京理科大学は学校法人東京理科大学が、長野県及び諏訪地域の6市町村、地元産業界からの要請と協力を得て設置した大学

2. 建学の精神

理学の普及をもって国運発展の基礎となす

3. 設置理念

- ① 急速に発展する科学技術に対応し、自ら将来を開拓できる実力のある人材の育成
- ② 地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献

4. 学部・学科・入学定員・総定員

学 部	学 科	入学定員	総定員
システム工学部	電子システム工学科	100	400
	機械システムデザイン工学科	100	400
経営情報学部	経営情報学科	100	400
工学・マネジメント研究科	工学・マネジメント専攻	15	30
計		315	1,230

5. 教育の特色

- ① 工学と経営学の融合教育
- ② 情報リテラシーと環境マインドを身につけさせる教育の実施
- ③ 専門基礎教育の徹底
- ④ 意欲や社会的能力の養成
- ⑤ 教育研究の高度化
- ⑥ 東京理科大学との密接な連携

6. 地域との連携

- ① 小・中・高等学校への出前授業の充実（生涯学習センター）
- ② 公開講座の開催・社会人対象の出前授業（生涯学習センター）
- ③ 産学公連携の推進（研究交流委員会、東京理科大学科学技術交流センター諏訪センター）
- ④ 大学施設の開放

7. 校地面積（H20.5.1 現在）

既存校地面積	73,007 m ²
新規校地面積	23,990 m ²
校地総面積	96,997 m ²

8. 校舎面積（H20.5.1 現在）

既存校舎（1・2・3号館、体育館、客員宿舎など）	9,651.22 m ²
新設校舎（4・5・6・7・8号館、セミナーハウス、クラブハウスなど）	17,506.41 m ²
校舎総面積	27,157.63 m ²

諏訪東京理科大学の教育職員数と事務職員数

1. 専任教育職員数

[平成16年度]

(単位：人)

学部	区分	専 任 教 員				
		教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部		11	2	6	1	20
経営情報学部		7	1	6	1	15
共通教育センター		7	3	4	1	15
計		25	6	16	3	50

(注) 1. 学校基本調査票より集計 (5月1日現在)

2. 専任教育職員に学長は含まれない

[平成17年度]

(単位：人)

学部	区分	専 任 教 員				
		教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部		11	2	6	1	20
経営情報学部		9	1	7	2	19
共通教育センター		7	3	4	1	15
計		27	6	17	4	54

(注) 1. 学校基本調査票より集計 (5月1日現在)

2. 専任教育職員に学長は含まれない

[平成18年度]

(単位：人)

学部	区分	専 任 教 員				
		教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部		12	6	5	3	26
経営情報学部		6	7	3	2	18
共通教育センター		4	3	3	1	11
計		22	16	11	6	55

(注) 1. 学校基本調査票より集計 (5月1日現在)

2. 専任教育職員に学長は含まれない

[平成19年度]

(単位：人)

学部	区分	専 任 教 員				
		教 授	准教授	講 師	助 教	計
システム工学部		13	7	3	4	27
経営情報学部		6	7	3	2	18
共通教育センター		4	3	3	1	11
計		23	17	9	7	56

(注) 1. 学校基本調査票より集計 (5月1日現在)

2. 専任教育職員に学長は含まれない

[平成20年度]

(単位：人)

区分 学部	専任教員				
	教授	准教授	講師	助教	計
システム工学部	15	6	3	5	29
経営情報学部	6	6	2	2	16
共通教育センター	4	3	3	0	10
計	25	15	8	7	55

(注) 1. 学校基本調査票より集計（5月1日現在）

2. 専任教育職員に学長は含まれない

2. 専任事務職員数

年 度 部 門	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
事務部長	1	1	1	1	1
庶務課	6	5	6	6	6
学務課	7	7	7	7	7
就職課	2	4	3	3	3
図書館	1	1	1	0	0
(情報技術課)	2	2	2	2	2
(保健管理センター)	1	1	1	1	1
計	20	21	21	20	20

(5月1日現在)

諏訪東京理科大学入試・在学生状況

1. 入試状況

(単位:人)

学部・学科			年度	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20
システム工学部	電子システム工学科	志願者	216	198	141	153	129	
		合格者	166	167	131	140	123	
		入学者	119	97	73	85	78	
	機械システムデザイン工学科	志願者	176	211	158	114	109	
		合格者	150	171	156	107	105	
		入学者	111	97	83	68	58	
経営情報学部	経営情報学科	志願者	216	249	178	166	163	
		合格者	153	198	175	155	159	
		入学者	122	124	116	100	102	
合 計		志願者	608	658	477	433	401	
		合格者	469	521	462	402	387	
		入学者	352	318	272	253	238	

(注)入学者数は、学校基本調査票より集計(5月1日現在)

2. 在学生[平成20年度]

(単位:人)

学部	システム工学部		経営情報学部	大学院	計
学科	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科	工学・マネジメント工学科	
1年	78(1)	58(1)	102(19)	15(2)	253(23)
2年	84(5)	66(2)	99(16)	22(2)	271(25)
3年	64(1)	77(3)	110(20)	—	251(24)
4年	99(5)	104(3)	124(13)	—	327(21)
計	325(12)	305(9)	435(68)	37(4)	1,102(93)

(注)1. 学校基本調査票より集計(5月1日現在)

2. () 女子内数を示す

3. 志願者数と入学者の地域別分布状況

年度 地域	平成16				平成17				平成18				平成19				平成20			
	志願者数	率 (%)	入学者数	率 (%)	志願者数	率 (%)	入学者数	率 (%)	志願者数	率 (%)	入学者数	率 (%)	志願者数	率 (%)	入学者数	率 (%)	志願者数	率 (%)	入学者数	率 (%)
北海道	3	0.5	1	0.3	3	0.5	1	0.3	5	1.0	1	0.4	0	0.0	0	0.2	1	0.2	0	0.0
東北	8	1.3	2	0.6	11	1.7	1	0.3	9	1.9	6	2.2	10	2.3	4	1.0	4	1.0	0	0.0
北関東	25	4.1	11	3.1	41	6.2	10	3.1	32	6.7	13	4.8	21	4.8	9	5.0	20	5.0	10	4.2
南関東	65	10.7	25	7.1	72	10.9	12	3.8	31	6.5	9	3.3	16	3.7	6	2.2	9	2.2	2	0.8
東京	29	4.8	9	2.5	41	6.2	13	4.1	28	5.9	6	2.2	25	5.8	7	4.7	19	4.7	5	2.1
甲信越	418 (378)	68.7 (62.2)	290 (269)	82.3 (76.4)	400 (351)	60.8 (53.3)	249 (236)	78.3 (74.2)	323 (278)	67.7 (58.3)	222 (199)	81.6 (73.2)	319 (278)	73.7 (64.2)	214 (193)	80.0 (68.6)	321 (275)	80.0 (68.6)	212 (198)	89.1 (83.2)
北 陸	4	0.7	1	0.3	5	0.8	2	0.6	7	1.5	1	0.4	2	0.5	1	1.5	6	1.5	0	0.0
東 海	28	4.6	7	2	38	5.8	11	3.5	21	4.4	7	2.6	20	4.6	6	3.0	12	3.0	2	0.8
近 畿	9	1.5	2	0.6	12	1.8	4	1.3	7	1.5	4	1.5	7	1.6	2	0.2	1	0.2	1	0.4
中国	2	0.3	0	0	2	0.3	0	0.0	1	0.2	0	0.0	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
四 国	1	0.2	0	0	2	0.3	2	0.6	1	0.2	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
九州・沖縄	3	0.5	2	0.6	5	0.8	3	0.9	6	1.3	1	0.4	2	0.5	0	0.2	1	0.2	1	0.4
その他	13	2.1	2	0.6	26	4.0	10	3.1	6	1.3	2	0.7	8	1.8	4	1.7	7	1.7	5	2.1
合 計	608	100	352	100	658	100	318	100	477	100	272	100	433	100	253	100	401	100	238	100

(注) 1. 入学者数は出身高校の所在地県別数で、
学校基本調査票より集計(5月1日現在)。
志願者についても学校基本調査票に準じて集計。
2. 甲信越地方下段の()内は長野県内数。

平成19年度卒業生進路決定状況

	システム工学部		経営情報学部	合 計	大学院
	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科		
就職希望者	71 (2)	84 (1)	91 (20)	246 (23)	18 (1)
就職内定者	69 (2)	83 (1)	88 (19)	240 (22)	16 (1)
就職内定率	97.2%	98.8%	96.7%	97.6%	88.9%
進学希望者	9 (1)	7 (0)	1 (0)	17 (1)	1 (0)
進校内定者	9 (1)	7 (0)	1 (0)	17 (1)	1 (0)
進校内定率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
その他希望者	2 (0)	1 (0)	5 (1)	8 (1)	2 (1)
その他内定者	1 (0)	1 (0)	5 (1)	7 (1)	1 (1)
進路内定率	96.3%	98.9%	96.9%	97.4%	85.7%

※進学希望者は大学院進学希望者。

() は女子内数

※その他希望者は家業、大学院以外の学校希望等。

単位：人

都道府県別就職決定者数（学部卒業生）

都道府県		システム工学部		経営情報学部	合計
		電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科	
長野県	諏訪地域	16	27	18	61
	北信	9	8	21	38
	中信	8	5	12	25
	東信	6	9	4	19
	南信	5	5	6	16
	合計	44	54	61	159
東京都		14	16	19	49
神奈川県		5	2		7
愛知県		1	2	3	6
埼玉県		1	1	3	5
山梨県		2	1	1	4
静岡県			2		2
群馬県			1	1	2
大阪府			2		2
茨城県		1			1
千葉県			1		1
岐阜県			1		1
北海道		1			1

※長野県・南信は諏訪地域を除く。

単位：人

進学決定先一覧（学部卒業生）

諏訪東京理科大学大学院	13
東京理科大学大学院	3
富山大学大学院	1

単位：人

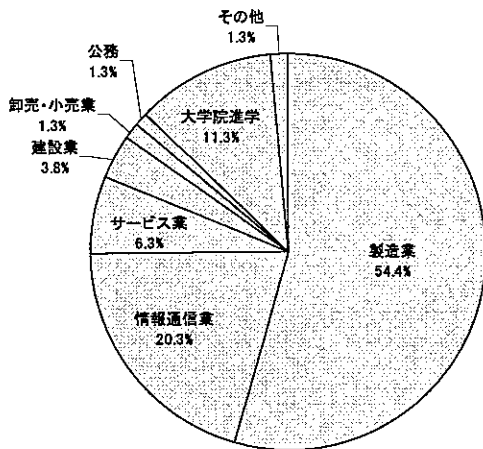


学校法人 東京理科大学

諏訪東京理科大学

進路決定状況及び進路先一覧

システム工学部/電子システム工学科

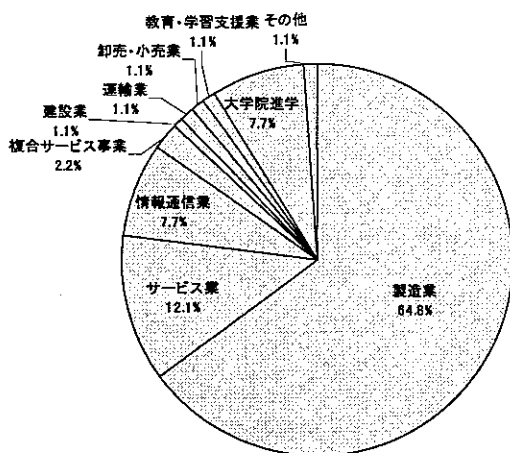


企業 ㈱アイ・エス・ピー/㈱IHIシパウラ/㈱アイテックデザイン/㈱旭エレクトロニクス/㈱アメニティーズ/㈱アルプス技研/㈱アンリミテッド/㈱イーテック/エヌエスプランニング/㈱エルシービー/㈱オーク製作所諏訪工場/沖電線/㈱オリジナルマインド/㈱加賀美電工/キヤノンセミコンダクターエキップメント/共立継器/コスモス工業/三映電子工業/㈱サンコー/三洋精密/三和電子/シチズンマシナリー/㈱信興テック/ミスト/新光電気工業/新生テクノス/㈱セリオテック/ソフメイト/ソラン/㈱大明/㈱ダイヤモンドヘッド/タカ/㈱タクト/多摩川精機/㈱中信高周波/テック/エクセル/㈱電算/天竜精機/東京コンピュータサービス/㈱トッパン・テクニカル・デザインセンター/内藤電誠工業/長野日本ソフトウェア/長野日本無線/㈱南信精機製作所/日酸TANAKA/日信工業/㈱ニッソー/日本電気通信システム/日本電産サンキョー/日本電熱/野村ユニソン/パイオニア・マイクロ・テクノロジー/㈱ハマツール/㈱広丘精機/㈱ベガシステム/マリモ電子工業/㈱ミマキエンジニアリング/㈱メイテック/㈱メディア/㈱柳沢精機製作所/大和電機工業/㈱リョウウ/㈱ルネサス北日本セミコンダクタ

公務 長野県警察

進学 諏訪東京理科大学大学院/東京理科大学大学院/富山大学大学院

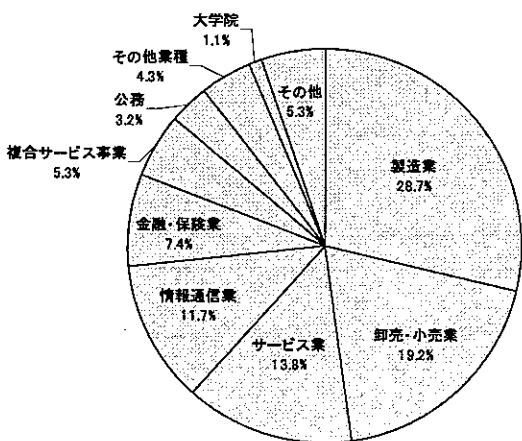
システム工学部/機械システムデザイン工学科



企業 ㈱IHI回転機械/アイシン精機/㈱アイチコーポレーション/アスリートFA/㈱アド・ダイセン/㈱アルプス技研/㈱アルプスツール/㈱イースタン/㈱イービックス/㈱荻原製作所/榎山工業/関東自動車工業/㈱キッツメタルワークス/㈱キョウデン/クミ化成/三全精工/三洋精密/㈱シーピーエス/あづみ農業協同組合/信州諏訪農業協同組合/シスメックスRA/シナノケンシ/㈱シンエイハイテック/新東工業/伸和コントロールズ/㈱長野事業所/セイコーエプソン/ゼネラルエンジニアリング/全日空整備/総合警備保障/ソラン/太陽工業/高島産業/㈱ティービーエム/帝国ピストンリング/㈱長野工場/㈱テックノ菱和/東邦工業/東洋精機工業/㈱トヨータイヤジャパン/㈱ドリームモータースクール/長野計器/長野精工/長野日本無線/西日本旅客鉄道/日松松尾/日信工業/日精樹脂工業/日本SE/日本電産コパル/㈱日本ビスコ/㈱ネオシステム/野村ユニソン/㈱ピー・エス・アイ/㈱平出精密/㈱富士通システムソリューションズ/㈱平成観光/㈱マイスターエンジニアリング/マルゴ工業/㈱ミスズ工業/三菱電機/ミネベア/㈱ミマキエンジニアリング/宮坂ゴム/㈱三幸製作所/ムトーアイテックス/㈱メイテック/森川産業/㈱大和製作所/㈱ユウウ/㈱リクルートR&Dスタッフティング/理研軽金属工業/㈱リョウウ

進学 諏訪東京理科大学大学院/東京理科大学大学院

経営情報学部/経営情報学科



企業 ㈱アクティオ/安曇精工/㈱アドヴァント・インフォーメーション・デザイン/㈱イースタン/㈱一真堂/インターテック/ジャパン/㈱エイデン/㈱イービーシー・マート/㈱エスグラントコーポレーション/NECソフト/㈱長野支社/オークラ住宅/㈱大町富士/㈱沖アドバンスコミュニケーションズ/オプト/㈱カーネルコンセプト/㈱共和コーポレーション/㈱グローバルホットライン/サン工業/㈱サンコー/㈱シイエスエス/上伊那農業協同組合/グリーン長野農業協同組合/塩尻市農業協同組合/信州諏訪農業協同組合/㈱JTB中部/JBSテクノロジー/しなのエア・ウォーター/㈱シューマート/昭和電機産業/住鋳潤滑剤/諏訪信用金庫/生活協同組合コープながの/ソレキア/大和冷機工業/㈱タテシナ/茅野商工会議所/㈱ツルヤ/㈱電算/㈱デンセン/東亜電気工業/東京特殊電線/上田工場/東京明販/東洋精機工業/東洋バルブ/茅野工場/トヨタUグループ/直富商事/長野県労働金庫/長野証券/㈱ニッワ工業/日精樹脂工業/㈱ニッソー/日本SE/日本興亜損害保険/日本電産サンキョー/日本電産ニッシン/㈱日本ビスコ/日本連合警備/八十二リース/㈱羽生田鉄工所/富士ゼロックス/富士ゼロックス長野/㈱ポテトデリカ/㈱マウント/㈱マシンエンジニアリング/松木会計事務所/松本信用金庫/松本日産自動車/㈱マルニシ/ミサワホーム信越/㈱ミスズ工業/㈱メック/㈱メモリード/㈱モリキ/㈱ヤオコー/山梨信用金庫/ヨコハマタイヤ甲信販売/㈱ワールドストアパートナーズ

公務 長野県警察/御代田町役場/自衛隊

進学 諏訪東京理科大学大学院

大学院 工学・マネジメント研究科/工学・マネジメント専攻

企業 アシストテクノロジー/ジャパン/㈱インターフェイス/㈱システックス/㈱伸光製作所/生活クラブ生活協同組合/トランスコスモス/ニッタン/日本無線/㈱日立情報システムズ/松下電器産業/三菱マテリアル/㈱メディア/㈱電製作所/レオン自動機

公務 光市役所/自衛隊

進学 東京理科大学大学院

平成20年度卒業生進路内定状況

	システム工学部		経営情報学部	合 計	大学院
	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科		
就職希望者	59 (2)	69 (3)	95 (12)	223 (17)	14 (1)
就職内定者	57 (2)	68 (3)	93 (11)	218 (16)	14 (1)
就職内定率	96.6%	98.6%	97.9%	97.8%	100.0%
進学希望者	9 (1)	9 (0)	1 (0)	19 (1)	1 (0)
進学内定者	9 (1)	9 (0)	1 (0)	19 (1)	1 (0)
進学内定率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
その他希望者	4 (1)	1 (0)	3 (1)	8 (2)	2 (0)
その他内定者	4 (1)	1 (0)	3 (1)	8 (2)	2 (0)
進路内定率	97.2%	98.7%	98.0%	98.0%	100.0%

※進学内定者は大学院進学予定者。

() は女子内数

※その他希望者は家業、大学院以外の学校希望者等。

単位：人

都道府県別就職内定者数（学部卒業生）

都道府県		システム工学部		経営情報学部	合計
		電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科	
長野県	諏訪地域	14	22	24	60
	北信	4	6	17	27
	中信	6	4	14	24
	東信	4	16	10	30
	南信	4	5	4	13
	合計	32	53	69	154
東京都		14	7	13	34
愛知県		6	3	1	10
千葉県		1	1	1	3
神奈川県		2		1	3
山梨県			2	1	3
北海道		1		1	2
群馬県		1	1		2
埼玉県				1	1
新潟県			1		1
静岡県				1	1
三重県				1	1
兵庫県				1	1

※長野県・南信は諏訪地域を除く。

単位：人

進学内定先一覧（学部卒業生）

諏訪東京理科大学大学院	11
東京理科大学大学院	1
筑波大学大学院	2
電気通信大学大学院	1
東京工業大学大学院	1
山梨大学大学院	2
同志社大学大学院	1

単位：人

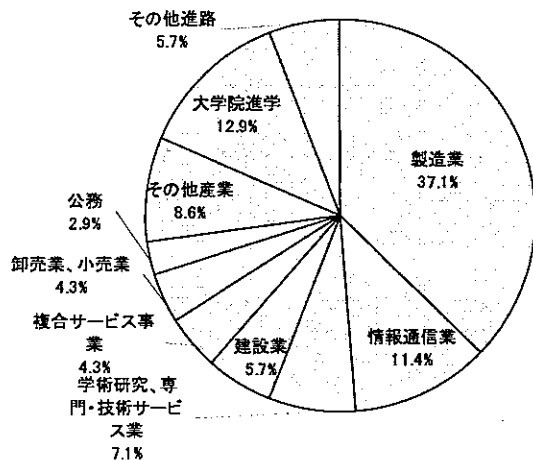


学校法人 東京理科大学

諏訪東京理科大学

進路内定状況及び内定先一覧

システム工学部/電子システム工学科

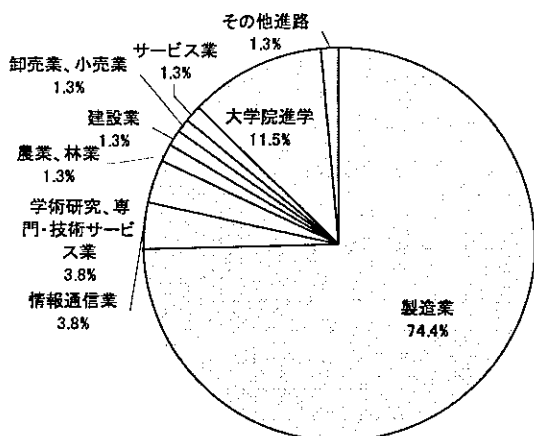


企業 アークシステム㈱/アヴァシス㈱/㈱旭エレクトロニクス/㈱イースタン/㈱泉精器製作所/㈱エグロ/NECネットワーク・センサ㈱/岡谷電機産業㈱長野技術センター/㈱オリエンタルランド/キッセイコムテック㈱/㈱ケイケンシステムKOA㈱/コンピューロン㈱/㈱シー・ラボ/㈱システム・ワン/シナノケンシ㈱/昭和電工㈱大町事業所/㈱伸光製作所/信州うえだ農業協同組合/信州諏訪農業協同組合/生活クラブ生活協同組合/ゼネラルエンジニアリング㈱/セントランス㈱/総合警備保障㈱/㈱ダイシン/太陽工業㈱/高島産業㈱/㈱デバインコーポレーション/天竜精機㈱/東海交通機械㈱/㈱トーエネック/トランスコスモス㈱/中村製作所㈱/㈱羽生田鉄工所/東日本旅客鉄道㈱長野支社/日立コンピュータ機器㈱/㈱広丘精機/富士電機リテイルシステムズ㈱/㈱マスタ/㈱松本義肢製作所/マルヤス機械㈱/三菱電機システムサービス㈱/㈱メイテック/㈱メイテックフィルダース/㈱メック/㈱メディア/㈱横谷温泉旅館/㈱ライト光機製作所/㈱ルネサス北日本セミコンダクタ

公務 長野県警察/南木曾町役場

進学 諏訪東京理科大学大学院/東京理科大学大学院/電気通信大学大学院/山梨大学大学院

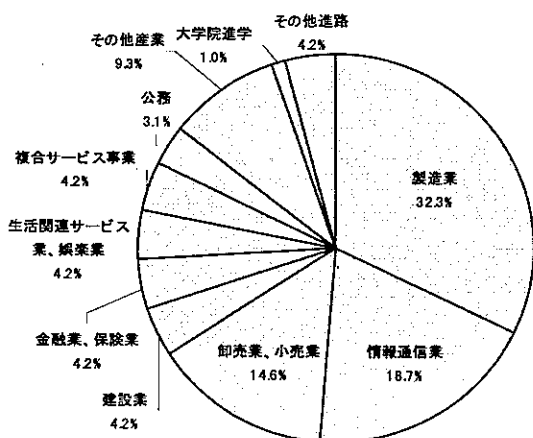
システム工学部/機械システムデザイン工学科



企業 アート金属工業㈱/㈱IHシバウラ/アイシン・エンジニアリング㈱/㈱青木固研究所/朝日農場/オリオン機械㈱/オリンパスオプトテック/ロジック/オルガン針㈱/榎山工業㈱/有国美工業/KOA㈱/㈱小松精機工作所/㈱サンユテックノスプラントエンジニア/三洋精密㈱/山洋電気㈱上田事業所/㈱城南製作所/昭和電工㈱大町事業所/㈱シンエイ・ハイテック/㈱伸光製作所/スピードファム長野㈱/セントランス㈱/ソフトウエア興業㈱/㈱太陽工業/太陽工業㈱/㈱タクト/㈱タマディック/㈱デイリーはやしや/㈱デジタル・スパイス/東邦工業㈱/東洋精機工業㈱/長野精工㈱/夏目光学㈱/ニスカ㈱/日信工業㈱/日本電産コバル㈱/日本電産サンキョー㈱/㈱日本ビスコ/野村ユニゾン㈱/林テレンプ㈱/日立金属㈱/㈱ヒラテ技研/不二越機械工業㈱/富士ゼロックス東京㈱/㈱フロンティア・テック/ロジック/㈱マイスターエンジニアリング/㈱前田製作所/㈱前田鉄工所/松本寒天産業㈱/マルゴ工業㈱/㈱丸真製作所/マルヤス機械㈱/㈱みくに工業/㈱ミスズ工業/大和電機工業㈱/山梨旭ダイヤモンド工業㈱/㈱リョウウ

進学 諏訪東京理科大学大学院/東京理科大学大学院/筑波大学大学院

経営情報学部/経営情報学科



企業 アート金属工業㈱/アイエックス・ナレッジ㈱/㈱AOKIホールディングス/津安芸農業協同組合/アネックスインフォメーション㈱/㈱アルプスツール/㈱イースタン/上田信用金庫/㈱エイチ・アイ・ディ/NECソフト㈱長野支社/㈱オデッセイ/㈱角藤/上伊那農業協同組合/キッセイコムテック㈱/㈱グルメリカ/㈱KSK/㈱ケイケンシステム/㈱健康家族/光洋電子工業㈱/㈱国興/㈱コンフォール/㈱サイベックコーポレーション/佐久浅間農業協同組合/桜井自動車钣金/三映電子工業㈱/㈱サンコー/三洋グラビア㈱/グリーン長野農業協同組合/GAC㈱/システムクリエイト㈱/シチズンファインテックミヨタ㈱/信州諏訪農業協同組合/信州名鉄運輸㈱/㈱ズー/炭平コーポレーション/諏訪信用金庫/税理士法人総合経営サービス/㈱マウンティン山崎会計事務所/セキスイハイム信越㈱/ソレキア㈱/㈱ダイヤモンドダイニング/太陽工業㈱/㈱タカチホ/㈱タクト/多摩川精機㈱/ちばざんコンピューターサービス㈱/㈱ツルヤ/ティディエス㈱/テレビ北信ケーブルビジョン㈱/㈱電算/東京コンピュータサービス㈱/㈱東平商会/東洋計器㈱/東洋精機工業㈱/トヨタUグループ/永田左官工業/㈱長野銀行/長野県信用組合/㈱長野ダイハツモーター/中村製作所㈱/㈱南信美装伊那/㈱ニチウ工業/日本連合警備㈱/㈱ネオシステム/野村ユニゾン㈱/日立SC㈱/㈱広丘精機/富士ゼロックス㈱/有ブラッサム/㈱プロシード/堀江表具店/㈱前田鉄工所/㈱マツヤ/マリモ電子工業㈱/㈱みくに工業/㈱都商事/官坂ゴム㈱/明伸工機㈱/㈱モリキ/山谷運輸㈱/㈱ライト光機製作所/㈱レッドバロン/㈱綿半ホームエイド

公務 警視庁/長野県警察/茅野市役所

進学 同志社大学大学院

大学院 工学・マネジメント研究科/工学・マネジメント専攻

企業 エイコー測器㈱松本臨空工場/エムケー精工㈱/関東自動車工業㈱/GAC㈱/㈱東海ソフトウェア/中尾・伊藤特許事務所/㈱ニッセルワン/日本消防検定協会/日本電熱㈱/日本モレックス㈱/㈱日立産機システム/㈱ベガシステム/㈱ヤマウラ

進学 東京理科大学大学院

諏訪東京理科大学生涯学習センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、諏訪東京理科大学学則（平成14年学則第14号）第61条第2項の規定に基づき、諏訪東京理科大学生涯学習センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、諏訪東京理科大学（以下「本学」という。）の研究成果及び教育機能を活用し、広く学内外に生涯学習機会を提供し、キャリア開発及び多様な学習意欲にこたえる活動を通して、地域社会に貢献することを目的とする。

(活動)

第3条 センターは、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 地域の社会人等、特に企業人を対象にした公開講座、講習会及び講演会の開催
- (2) 小学生、中学生、高校生等に対する科学啓蒙活動推進のための事業の実施
- (3) 本学の学生を対象にした資格取得講座等の開催
- (4) その他センターの目的達成に必要な活動

(組織)

第4条 センターにセンター長を置き、センターは、センター所員及び事務職員をもって組織する。

(センター長及びセンター所員)

第5条 センター長は、センターの業務を統括する。

2 センター長は、本学の教授のうちから本学の学長（以下「学長」という。）が選出し、理事長に申し出る。

3 センター所員は、本学の教授、助教授、講師のうちから充てる。

(選任)

第6条 センター長及びセンター所員は、学長の申出に基づいて、理事長が委嘱する。

(任期)

第7条 センター長及びセンター所員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第8条 センターの運営に関する事項を審議するため、センターに運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センター所員のうちから若干人
- (3) 本学の専任の教授、助教授、講師のうちから学長が指名する者
- (4) 諏訪東京理科大学事務部長

3 委員長は、センター長とする。

4 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長のあらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

- 5 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(細則)

第9条 この規程の施行に関し必要な細則は、委員会の議を経てセンター長が定める。

(事務処理)

第10条 センターに関する事務は、諏訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附 則

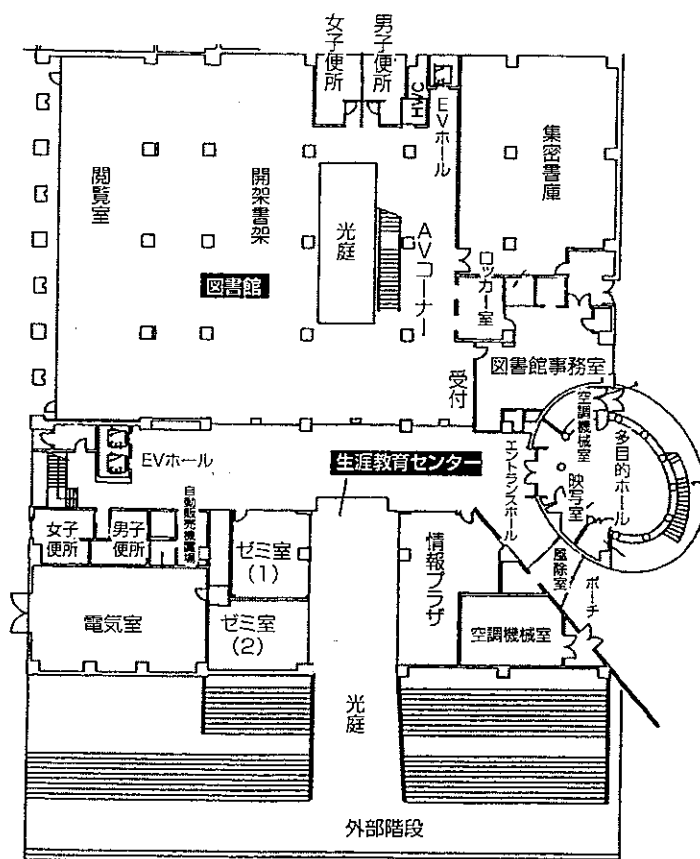
- 1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第7条の規定にかかわらず、当初のセンター長及びセンター所員の任期は、平成15年9月30日までとする。

諏訪東京理科大学生涯学習センター運営委員会委員名簿

所 属		職 名	氏 名
共通教育センター		教 授	※ 木 村 正 弘
		講 師	武 藤 英
システム工学部	電子システム工学科	教 授	石 井 隆 生
	機械システムデザイン工学科	准教授	板 橋 正 章
経営情報学部	経営情報学科	准教授	飯 田 洋 市
事 務 部		事務部長	新 井 伊 佐 男

※生涯学習センター長

諏訪東京理科大学生涯学習施設



面積: 2,286.91㎡

施設:

施設名	施設内容		開館時間
図書館	蔵書数	和書 56,703 冊	平日 9:00~20:00 土曜日 9:00~18:00
		洋書 4,726 冊	
		視聴覚資料 1,474 点	
		和雑誌 98 種	
		洋雑誌 73 種	
	蔵書検索用パソコン	5台	
	その他機材	ビデオ、CD、DVDデッキ 各4台	
	閲覧座席数	167席	
	個人閲覧室	9室 情報コンセント8	
	グループ閲覧室	2室 情報コンセント16	
ゼミ室	ゼミ室(1)		
	ゼミ室(2)	和室	
多目的ホール 茅野市情報プラザ	地域住民の学びの場を提供するため、茅野市情報プラザとして施設を開放している		10:00~20:00

諏訪東京理科大学 生涯学習センター事業実績（平成 19 年度）

1. サイエンス夢合宿（実施日：7 月 28、29 日）

参加組数 37組

1. コース別参加状況

〔一日目〕

空気の流れを考えながら投げよう！ （機械システムデザイン工学科 講師 板橋正章）	13 組
コンビニの店長を体験しよう！ （経営情報学科 助教 大平修司）	10 組
放射線を測ってみよう！ （共通教育センター 助教 斉藤隆）	14 組

〔二日目〕

電気を使ってヘリコプターを飛ばそう！ （電子システム工学科 教授 江原暉将）	6 組
磁石を作って遊ぼう！ （電子システム工学科 講師 大島政英）	6 組
ロボットバトル！ロボットを作って動かして対戦しよう！ （機械システムデザイン工学科 准教授 市川純章）	6 組
大きなシャボン玉を作ろう！ （機械システムデザイン工学科 准教授 和田義孝）	2 組
紙飛行機を上手に飛ばそう！ （経営情報学科 准教授 松岡隆志）	6 組
ペットボトルロケットを飛ばそう！ （共通教育センター 講師 武藤英）	5 組
ビーズ万華鏡！ （共通教育センター 教授 木村正弘）	5 組

2. 地域別参加状況

	5年生	6年生	合計
茅野市	3	7	10
諏訪市	3	4	7
岡谷市	1	3	4
下諏訪		3	3
佐久市	2	1	3
辰野町	2	1	3
原村	2		2
小諸市	1		1
松本市	1		1
大桑村		1	1
富士見町	1		1
箕輪町	1		1
合計	17	20	37

2. 出前授業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2007/06/19	LCV欄	企業経営と技術革新	古舘信生	0	ホテル紅や	
2007/06/21	茅野市立永明小学校		広瀬啓雄	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/06/22	茅野市立北部中学校	私たちのくらしとエネルギー	平田陽一	110	本学	3年生
2007/07/19	茅野市立永明小学校		広瀬啓雄	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/07/20	岡谷市湊公民館		須川修身	0	岡谷市湊公民館	
2007/07/21	国際ロータリー第2600地区(県下10高校で結成)	私たちのくらしとエネルギー	平田陽一	240	松本大学	参加高校生
2007/07/26	野沢南高校	ビジネスゲームで学ぶ経営学	井上善博	30	野沢南高校	1～3年生
2007/07/26	野沢南高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	30	野沢南高校	1～3年生
2007/08/31	長野東高校	ナノテクノロジーの世界	西山勝廣	40	長野東高校	1年生
2007/08/31	長野東高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	40	長野東高校	1年生
2007/09/05	駒ヶ根工業高校	小型ロボットの動作実演	市川純章	32	駒ヶ根工業高校	2年生
2007/09/10	関東信越税理士会諏訪支部	心理的ストレスの仕組みと対応	田中佑子	70	下諏訪商工会議所	社会人
2007/09/11	諏訪地区保健指導員等連絡協議会	ぼけない脳をつくるために	篠原菊紀	100	茅野市運動公園体育館	社会人
2007/09/25	岡谷ロータリークラブ		田中佑子	40	ホテル岡谷	社会人
2007/09/28	茅野市立永明小学校		奈良松範	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/10/03	茅野市米沢小学校PTA	楽しい科学工作	木村正弘	200	茅野市米沢小学校	社会人、小学生
2007/10/05	岡谷市湊公民館		飯田洋市	0	岡谷市湊公民館	
2007/10/18	茅野市立永明小学校		木村正弘	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/10/23	飯田高校	機械制御入門	星野祐	40	飯田高校	1年生
2007/10/25	茅野市北部中学校	水から考える	奈良松範	115	茅野市北部中学校	中学生
2007/10/25	茅野市北部中学校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	115	茅野市北部中学校	中学生
2007/10/25	茅野市北部中学校	株って何？	林幸治	115	茅野市北部中学校	中学生
2007/10/26	岡谷市役所企画課		藤瀬恭子	100	岡谷市役所	社会人
2007/10/29	上伊那農業高校	私たちのくらしとエネルギー	平田陽一	21	上伊那農業高校	2年生理系
2007/11/01	下諏訪向陽高校	ナノテクノロジーの世界	西山勝廣	20	下諏訪向陽高校	高校1年生
2007/11/07	諏訪市内小中学校理科教科会		西山勝廣	17	諏訪市立四賀小学校	社会人
2007/11/09	長野東高校		江原暉将	40	長野東高校	2年生
2007/11/09	茅野市立永明小学校		志澤高朗	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/11/09	山梨県立身延高校	私たちのくらしとエネルギー	平田陽一	15	山梨県立身延高校	1.2年生理系

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2007/11/20	原村中央公民館教育課	心理的ストレスの仕組みと対応	田中佑子	35	原村中央公民館	社会人
2007/11/23	辰野高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	30	辰野高校	高校生、社会人
2007/12/07	茅野市立永明小学校		平田陽一	31	茅野市立永明小学校	6年3組
2007/12/13	岡谷南高校	ソフトキャンディボールを弾ませて	飯田洋市	30	岡谷南高校	高校生
2007/12/17	上伊那農業高校	コンビニは何故はやる	大平修司	40	上伊那農業高校	高校3年生
2008/01/31	上田千曲高校	身近にあるモータの種類と原理	大島政英	27	上田千曲高校	高校生
2008/02/14	立科町中央公民館	レッツ チャレンジ！男も女も輝いて	藤瀬恭子	50	立科町中央公民館	一般
2008/02/16	松本市役所人権・男女共生課	映画で学ぶ男女共同参画	藤瀬恭子	30	松本市女性センター	社会人
2008/02/17	長野県共同参画をめざす会	ムービー&トーク DVD「スーパーの女」	藤瀬恭子	20	長野県男女共同参画センター“あいとびあ”(岡谷市)	社会人
2008/02/27	LCV欄	統計って何だ	奥原正夫	25	ホテル紅や	一般(会員)
2008/02/27	須坂東高校	コンビニは何故はやる	大平修司	30	須坂東高校	高校生
2008/02/27	須坂東高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	30	須坂東高校	高校生
2008/02/27	須坂東高校	ナノテクノロジーの世界	西山勝廣	30	須坂東高校	高校生
2008/02/28	飯山北高校	「株」って何？	林幸治	20	飯山北高校	高校生
2008/03/05	下諏訪町公民館	紙飛行機を上手に飛ばそう	松岡隆志	60	下諏訪総合文化センター	一般
2008/03/12	武蔵工業大学第二高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	20	武蔵工業大学第二高校	高校生
2008/03/12	武蔵工業大学第二高校	食生活と食ビジネスを考える	山腰光樹	20	武蔵工業大学第二高校	高校生
2008/03/19	新潟県立上越総合技術高校	エレクトロニクス基礎講座	宮澤悟	35	新潟県立上越総合技術高校	高校生

3. 高大連携事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2007/04/25	茅野高校	大学見学及び学食体験(OBとの意見交換会)	藤瀬恭子	29	本学	2年生
2007/04/25		大学見学及び学食体験	事務	29	本学	2年生
2007/05/09		講義Ⅱ「今すぐ欲しいものがある。さあどうする？」	林幸治	29	本学	2年生
2007/05/09		講義Ⅰ「自分って何？」	飯田洋市	29	本学	2年生
2007/06/13		講義Ⅱ「お店の育て方～コンビニ経営～」	井上善博	29	本学	2年生
2007/06/13		講義Ⅰ「チャンスのつかみ方・いかし方」	林幸治	29	本学	2年生
2007/09/12		講義Ⅰ「ロボット工学」	細貝英実	29	本学	2年生
2007/09/12		講義Ⅱ「衝撃工学(ドカン! さあどうなる?)	板橋正章	29	本学	2年生
2007/09/12		「配管検査ロボット」	市川純章	29	本学	2年生
2007/10/17			江原、宮澤、清水	0	本学	
2007/10/17			江原、宮澤、清水	0	本学	
2007/11/14			平尾毅	0	本学	
2007/11/14			飯田洋市	0	本学	
2007/10/03	岡谷工業高校	2年生キャンパス体験	平田幸広	0	本学	
2007/10/03		2年生キャンパス体験	石井隆生	0	本学	
2007/10/03		2年生キャンパス体験	星野祐	0	本学	
2007/10/03		2年生キャンパス体験	成松恭平	0	本学	
2007/11/06		1年生キャンパス体験	平田幸広	42	本学	
2007/11/06		1年生キャンパス体験	石井隆生	42	本学	
2007/11/06		1年生キャンパス体験	石森秀明	42	本学	
2007/12/22	諏訪清陵高校	フラクタルの数理	相原伸一	25	本学	

4. タイアップ講座

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2007/11/30	小諸商業高校	質問紙の設計法	奥原正夫	0	小諸商業高校	高校生
2007/12/07	小諸商業高校	アンケートの分析方法	奥原正夫	0	小諸商業高校	高校生
2008/02/15	塩尻志学館高校	情報処理授業	奥原正夫	15	塩尻志学館高校	高校生
2008/02/19	塩尻志学館高校	情報処理授業	奥原正夫	15	塩尻志学館高校	高校生
2008/02/22	塩尻志学館高校	情報処理授業	飯田	15	塩尻志学館高校	高校生
2008/02/25	塩尻志学館高校	情報A	広瀬	0	塩尻志学館高校	高校生
2008/02/25	塩尻志学館高校	情報A	石森	0	塩尻志学館高校	高校生
2008/02/26	塩尻志学館高校	情報処理授業	広瀬	15	塩尻志学館高校	高校生

5. 理科エキスパート活用推進事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/02/20	安曇野市立豊科東小学校	ふりこの動き	山田昭夫	52	安曇野市立豊科東小学校	小学生5年生
2008/02/27	安曇野市立豊科東小学校	ふりこの動き	山田昭夫	52	安曇野市立豊科東小学校	小学生5年生
2008/03/05	安曇野市立豊科東小学校	ふりこの動き	山田昭夫	52	安曇野市立豊科東小学校	小学生5年生

6. 協力事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2007/08/26	上田教育事務所、上小PTA連合会	脳にとって必要なこと	篠原 菊紀	0	上田市長和町中学校組合 立依田窪南部中学校	
2007/09/22	須坂市健康福祉部健康づくり課	ウォーキング(運動)が脳に与える効果	篠原 菊紀	0	須坂市情報センター	一般市民
2007/10/17	阿南第二中学校	生活習慣と健康的な脳の発達について	篠原	0	阿南第二中学校	
2007/10/28	JA信州諏訪	『ボケない脳をつくる』～高齢化を迎え今からできること～	篠原 菊紀	300	富士見グリーンカルチャーセンター	
2007/11/01	長野県国保地域医療推進協議会		篠原 菊紀	0	メルパルク長野	
2007/11/18	飯田市旭ヶ丘中学校	自分の脳を育てるコツ	篠原	0	飯田市旭ヶ丘中学校	PTA
2007/12/07	山梨県立大学	ジェンダー論	藤瀬	0	山梨県立大学	
2007/12/08	松本市教育文化センター	子どもの学力を育む秘訣-学校教育・家庭教育でのヒント-	篠原	0	松本市学級づくり研究会	
2007/12/11	茅野市健康福祉部	脳と運動の関係	篠原	0	茅野市健康管理センター	
2008/01/12	東京純心女子大学	女性と仕事	田中佑子	32	東京純心女子大学	
2008/02/12	諏訪市公民館	美味しく、安心な「食」とは？	山腰	100	諏訪市文化センター	
2008/02/16	長野市生涯学習センター3階	地域商店街の活性化策	山腰	0	長野市生涯学習センター3階	
2008/02/16	岡谷市学校保健会	岡谷市学校保健会研修会	篠原 菊紀	0	岡谷イルフプラザ多目的ホール	
2008/02/18	安曇野市	ボケない脳をつくる	篠原菊紀	0	堀金総合体育館サブアリーナ	
2008/02/20	諏訪地区販売士会	2・3級販売士資格更新講習会	山腰	0	諏訪商工会議所	
2008/02/24	駒ヶ根市文化会館	子育て講演会	篠原	0	駒ヶ根市文化会館	
2008/02/29	長野赤十字病院		篠原	0	長野赤十字病院	

諏訪東京理科大学 生涯学習センター事業実績（平成 20 年度）

1. サイエンス夢合宿（実施日：7 月 26、27 日）

参加組数 38組

（小学生 39名 大人 38名）※1組兄弟参加

1. コース別参加状況

〔一日目〕体験コース

（参加小学生数）

1. 結晶が成長するのをみてみよう！ 12 名
電子システム工学科 教授 石井隆生
2. 空き缶と牛乳パックでごはん(サバメシ)を炊いてみよう！ 11 名
機械システムデザイン工学科 准教授 板橋正章
3. パソコンでコンビニの店長になろう！ 16 名
経営情報学科 准教授 渡辺竜介 / 助教 林 幸治

〔二日目〕ものづくりコース

- A. 太陽電池で動く燃料電池車 7 名
電子システム工学科 教授 谷 辰夫
- B. 光ファイバーを使って光るインテリアを作ろう！ 6 名
電子システム工学科 講師 平田幸広
- C. レゴブロックで車を作って走らせよう！ 6 名
機械システムデザイン工学科 教授 竹増光家
- D. 紙飛行機を上手に飛ばそう！ 6 名
経営情報学科 准教授 松岡隆志 / 准教授 渡辺竜介
- E. ブーメランを飛ばそう！ 7 名
共通教育センター 講師 武藤 英
- F. クッキングパラソル 7 名
共通教育センター 教授 木村正弘

2. 地域別参加状況

エリア	市町村名	5年生	6年生	合計
諏訪エリア	茅野市	8	3	11
	諏訪市	6	4	10
	岡谷市	2	1	3
	下諏訪町	1	1	2
	原村	5	2	7
北信	長野市	1		1
	須坂市		1	1
東信	佐久市		1	1
	立科町		2	2
南信	箕輪町		1	1
合計		23	16	39

2. 出前授業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/04/25	松本蟻ヶ崎高校2年		清藤多加子	41	本学	高校生
2008/05/21	愛知県犬山市立南部中学校	水から考える	奈良松範	6	本学	中学生
2008/05/23	原村中央公民館	水から考える	奈良松範	30	原村中央公民館	一般
2008/05/24	茅野市北山小学校		篠原菊紀	100	茅野市北山小学校	小学生、 社会人
2008/07/03	諏訪南中学校	大学見学	板橋正章	25	本学	中学生
2008/07/15	塩尻志学館高校	ゴミにもランキング	板橋正章		塩尻志学館高校	高校生
2008/07/24	箕輪中学校	大学見学	西山勝廣	1	本学	中学生
2008/07/25	関東信越税理士会諏訪支部	自動車の衝突安全性はこうなっている！	板橋正章	70	ベルファイン橋場	一般
2008/08/29	駒ヶ根工業高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	31	駒ヶ根工業高校	高校生
2008/09/03	諏訪赤十字病院	色々なエネルギー源と環境問題	木村正弘	30	諏訪赤十字病院	一般
2008/09/19	下諏訪向陽高校	家庭を火災から守る	須川修身	30	下諏訪向陽高校	高校生
2008/09/19	下諏訪向陽高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	30	下諏訪向陽高校	高校生
2008/10/10	甲府城西高校	デジタルのしくみ	平田幸広	20	甲府城西高校	高校生
2008/10/25	辰野高校	私たちのくらしとエネルギー	平田陽一	20	辰野高校	高校生
2008/10/27	上伊那農業高校	食生活と食ビジネスを考える	山腰光樹	39	上伊那農業高校	高校生
2008/11/08	原中学校	生涯学習フォーラム意見交換会	奈良松範	19	原村原中学校	中学生
2008/12/05	長野県商業教育研究会北信支部	顧客管理(CRM)のすすめ方	山腰光樹	0	長野第一ホテル	一般
2008/12/09	長野県商業教育研究会中信支部	今後の高等学校の商業教育のあり方	片岡寛	30	塩尻志学館高校	教員
2009/02/06	長野労働基準監督署	企業経営と技術革新	古館信生	40	松代ロイヤルホテル	一般
2009/02/20	長野県共同参画をめざす会 諏訪地区	企業の中の女たち	藤瀬恭子	20	長野県男女共同参画センター	社会人
2009/02/24	木曽町立上田小学校	動くおもり	山田昭夫	15	木曽町立上田小学校	小学生
2009/02/26	飯山北高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	20	飯山北高校	高校生
2009/02/27	須坂東高校	会計という社会制度の重要性	渡辺竜介	30	須坂東高校	高校生
2009/03/11	武蔵高二高校	食生活と食ビジネスを考える	山腰光樹	18	武蔵高二高校	高校生
2009/03/11	武蔵高二高校	小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説	市川純章	19	武蔵高二高校	高校生
2009/03/26	LCV地域経済研究会	金融環境の変化にどう対処すべきか	伊藤忠治	25	ホテル紅や	社会人

3. 高大連携事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/04/23	茅野高校	大学見学及び学食体験	事務	33	本学	2年生
2008/05/14	茅野高校	講義Ⅱ「本気で解説する環境問題」	板橋正章	33	本学	2年生
2008/05/14	茅野高校	講義Ⅰ「いろいろなエネルギー源と環境問題」	木村正弘	33	本学	2年生
2008/06/11	茅野高校	講義Ⅱ「高校生の経営術！心をつかむコミュニケーション力」	飯田洋市	33	本学	2年生
2008/06/11	茅野高校	講義Ⅰ「情報化社会と電子技術」	石井隆生	33	本学	2年生
2008/09/10	茅野高校	講義Ⅱ「炎の挙動と火災について」	須川修身	33	本学	2年生
2008/09/10	茅野高校	講義Ⅰ「コンビニエンスストアと経営学」	林幸治	33	本学	2年生
2008/10/15	茅野高校	講義Ⅱ「電子材料のお話 ～セラミックス今昔物語～」	王谷洋平	33	本学	2年生
2008/10/15	茅野高校	講義Ⅰ「日本人宇宙飛行士と宇宙ステーション実験」	河村洋	33	本学	2年生
2008/11/12	茅野高校	講義Ⅱ「私たちのくらしとエネルギー」	平田陽一	33	本学	2年生
2008/11/12	茅野高校	講義Ⅰ「企業の環境マネジメント活動について」	天野輝芳	33	本学	2年生
2008/09/11	岡谷工業高校	情報技術科 特別学習	古館信生	31	岡谷工業高校	情報技術科3年
2008/11/06	岡谷工業高校	電気科SPP 事前講義	宮澤悟	40	岡谷工業高校	電気科2年生
2008/11/14	岡谷工業高校	電気科SPP 本学での実験実習	宮澤悟	40	本学	電気科2年生
2008/11/14	岡谷工業高校	電気科SPP 本学での実験実習	平田幸広	40	本学	電気科2年生
2008/11/14	岡谷工業高校	電気科SPP 本学での実験実習	稲坂勤	40	本学	電気科2年生
2008/11/28	岡谷工業高校	情報技術科 中間発表会	大田健紘	35	岡谷工業高校	情報技術科3年
2008/11/28	岡谷工業高校	情報技術科 中間発表会	平田幸広	35	岡谷工業高校	情報技術科3年
2008/11/28	岡谷工業高校	情報技術科 中間発表会	奥原正夫	35	岡谷工業高校	情報技術科3年
2008/11/28	岡谷工業高校	電気科SPP 事後講義	稲坂勤	40	岡谷工業高校	電気科2年生
2008/12/05	岡谷工業高校	機械科 連携授業	河村洋	10	本学	機械科3年
2009/01/19	岡谷工業高校	生産システム科 連携授業	星野祐	1	本学	生産システム科3
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	奥原正夫		岡谷工業高校	3学年
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	宮澤悟		岡谷工業高校	3学年
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	大田健紘		岡谷工業高校	3学年
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	河村洋		岡谷工業高校	3学年
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	武藤英		岡谷工業高校	3学年
2009/01/27	岡谷工業高校	課題研究発表会	石井隆生		岡谷工業高校	3学年
2009/02/13	岡谷工業高校	情報技術科 特別学習 発表会	古館信生	31	テクノプラザおかや	情報技術科3年
2008/11/22	諏訪清陵高校	フラクタルへの招待	相原伸一	27	本学	2年生

4. タイアップ講座

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/05/19	中野立志館高校	どんな弁当が売れるの？	山腰光樹		中野立志館高校	高校生
2008/05/20	中野立志館高校	起業のすすめ	井上善博		中野立志館高校	高校生
2008/05/21	中野立志館高校	JpanNow現在の企業社会を考える	平尾毅		中野立志館高校	高校生
2008/05/26	中野立志館高校	どんな弁当が売れるの？	山腰光樹		中野立志館高校	高校生
2008/05/27	中野立志館高校	起業のすすめ	井上善博		中野立志館高校	高校生
2008/05/28	中野立志館高校	JapanNow現在の企業社会を考える	平尾毅		中野立志館高校	高校生
2008/06/09	中野立志館高校	コンビニから学ぶ企業経営	林幸治		中野立志館高校	高校生
2008/06/10	中野立志館高校	コンビニから学ぶ企業経営	林幸治		中野立志館高校	高校生

5. 理科エキスパート活用推進事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2009/01/27	長野県	動くおもり	山田昭夫	73	大町市立大町南小学校	小学生
2009/02/06	長野県	動くおもり	山田昭夫	22	木祖村木祖小学校	小学生
2009/02/10	長野県	動くおもり	山田昭夫	15	木曽町立上田小学校	小学生
2009/02/12	長野県	動くおもり	山田昭夫	22	木祖村木祖小学校	小学生
2009/02/17	長野県	動くおもり	山田昭夫	15	木曽町立上田小学校	小学生
2009/02/19	長野県	動くおもり	山田昭夫	22	木祖村木祖小学校	小学生

6. 協力事業

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/05/17	東築摩・塩尻教育会	講演会	篠原菊紀	400	塩尻市立桔梗小学校	
2008/05/22	茅野市ちの保育園	脳の発達と子育て	篠原菊紀		ちの保育園	保護者
2008/05/31	茅野市立北山小学校	子どもの脳にも大人の脳にも必要な話	篠原菊紀	130	茅野市立北山小学校	6年生、保護者、
2008/06/16	東海大学付属第三高等学校長	東海大第三高校SPP	市川純章		東海大学付属第三高等学校長	高校生
2008/06/22	須坂市	ウォーキング(運動)が脳に与える効果	篠原菊紀		須坂市保健センター	一般
2008/06/23	そば産業推進会議	寒陋し蕎麦祭実践ゼミ	山腰光樹		本学	一般
2008/06/26	長野県保健センター連絡協議会	長野県保健センター連絡協議会研修会	篠原菊紀		塩尻市保健福祉センター	一般
2008/06/28	長野県数学会	長野県数学会高校大学数学教育研究会	金井範夫		飯山北高校	教員
2008/06/29	茅野市	茅野市男女共同参画推進大会	藤瀬恭子・清藤多加子		茅野市役所	一般
2008/07/10	長野県	「観光立県長野」の再興に向けた学官連携協議会講師	篠原菊紀		信州大学	
2008/07/25	東海大学付属第三高等学校長	東海大第三高校SPP	市川純章		東海大学付属第三高等学校長	高校生
2008/07/26	東海大学付属第三高等学校長	東海大第三高校SPP	市川純章		東海大学付属第三高等学校長	高校生
2008/07/28	長野県テクノ財団	近距離無線技術利活用シーズ提供セミナー	松江英明		長野県工業技術総合センター	
2008/08/02	長野県理化学会	理科教育研究大会講師	西山勝廣		岡谷市生涯学習センター	教員
2008/08/04	長野市立古里小学校	学校保健委員会における講演会	篠原菊紀		長野市立古里小学校	
2008/08/06	松本深志高校	キャリア研修	篠原菊紀・志澤高朗	15	本学	高校生
2008/08/25	御殿場市立神山小学校	御殿場市内学校保健安全委員会講師	篠原菊紀	80	御殿場市役所	教職員
2008/08/30	豊丘中学校	豊丘中学校開校50周年講演会	篠原菊紀	239	豊丘中学校	一般
2008/09/06	茅野市教育委員会	男女共同参画に関する講座	藤瀬恭子		本学	一般
2008/09/09	茅野市高齢者大学長	「バワボが使える環境で」「ストレッチ筋トレ」	篠原菊紀	170	本学	
2008/09/25	大阪市都市型産業振興センター	ヘルスツーリズムビジネス研究会	篠原菊紀		大阪産業想像館	
2008/10/04	豊岡市教育委員会	子育てフォーラム「運動遊びで脳力パワーアップ」	篠原菊紀	400	豊岡市出岩文化会館	一般、教職員
2008/10/11	国立妙高青少年自然の家	豊かな体験活動推進フォーラム	篠原菊紀		国立妙高青少年自然の家	
2008/10/17	茅野市長	日本女性会議2008とやま	藤瀬恭子		富山駅オーバードホール他	
2008/10/23	山梨県立桂高校	山梨県桂高校SPP	星野祐	80	桂高校	高校生
2008/10/29	長野県国民健康保険団体連合会	市町村・国保組合等会計管理者等会議講師	篠原菊紀	70	サンパルテ山王	一般
2008/11/01	長野県高等学校教育研究会諏訪地区	長野県高等学校教育研究会諏訪地区総会	飯田洋市	20	茅野高等学校	教職員
2008/11/07	山梨県立桂高校	山梨県桂高校SPP	星野祐		本学	高校生

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/11/10	茅野市立宮川小学校	宮川小学校講演会	山腰光樹		宮川小学校	一般、教職員
2008/11/14	茅野商工会議所	中信ブロック商工会議所経営指導員研修会	山腰光樹		茅野商工会議所	
2008/11/29	須坂市長	須坂市脳活性化講演会	篠原菊紀		須坂市保健センター	一般
2008/11/29	茅野市教育委員会	男女共同参画に関する講座	藤瀬恭子		本学	一般
2008/12/03	サイバネットシステム株式会社	MATLAB EXPO 2008 講演会	松江英明		ザ・プリンスパークタワー東京理科大学	
2008/12/10	白梅学園高等学校	白梅学園高等学校講演会	篠原菊紀	804	小平市民文化会館	高校生
2008/12/29	自治労長野県本部諏訪地区	自治労長野県本部諏訪地区協議会講演	藤瀬恭子		茅野駅前ベルビア	
2009/01/22	茅野市	茅野市保育研究集会	篠原菊紀		茅野市役所	一般
2009/01/22	諏訪ブロック女性会	諏訪ブロック女性会研修会	田中佑子		ジョイントプラザマリオ	
2009/01/25	大町市	きらり健康講演会	篠原菊紀		サン・アルプス大町	
2009/01/26	株式会社八戸インテリジェントプラザ	CAD/CAMシステム基礎と実際講座	西山勝廣		八戸グランドホテル	一般
2009/01/27	世田谷パブリックシアター	パブリックシアターのためのアーツマネジメント講座	青野智子		世田谷文化生活情報センター	
2009/01/31	茅野市教育委員会	男女共同参画に関する講座	藤瀬恭子	25	本学	一般
2009/02/09	日本テクノセンター	高速無線通信技術の基礎講座	松江英明		日本テクノセンター	一般
2009/02/28	飯田市	飯田市保育園保育の会全体研修会講演	篠原菊紀		飯田市	一般
2009/03/05	名古屋工業大学	液体供給MOCVD法によるPZT薄膜の作製	王谷洋平		名古屋工業大学	
2009/03/06	筑波大学大学院	企業環境マネジメント活動とビジネス創出	天野輝芳		筑波大学大学院	大学生
2009/03/11	長野県中小企業振興センター	技術開発セミナー	西山勝廣	50	テクノプラザおかや	一般
2009/03/21	岡谷市	岡谷市連合婦人会総会講演	藤瀬恭子		イルファカルチャーセンター多目的ホール	一般
2009/03/28	茅野市教育委員会	男女共同参画に関する講座	清藤多加子	25	本学	一般
2009/03/28	茅野市教育委員会	男女共同参画に関する講座	藤瀬恭子	25	本学	一般

7. その他

開催日程	依頼元	テーマ	講師	人数	場所	対象
2008/05/28	茅野市教育委員会	諏訪地方市町村教育委員会大学見学会	西山、事務	40	本学	市町村 教育委
2008/10/11	下諏訪町商工会議所	下諏訪町産業フェア	谷研究室		下諏訪町	一般
2008/10/11	下諏訪町商工会議所	下諏訪町産業フェア	木村正弘		下諏訪町	一般

諏訪東京理科大学地域交流状況

1. 大学開放施設及び利用状況

[平成19年度]

(1) 図書館

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・491件

(2) 体育館

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・158件
(バレーボール、バスケットボール)

(3) グラウンド

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・105件
(サッカー、野球、ソフトボール)
(茅野市サッカー協会毎週水曜と金曜定期使用含む)

(4) テニスコート

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・5件

(5) 教室

検定試験への会場提供・・・・・・・・・・・・・12件

○簿記検定 3回

○秘書検定 3回

○パーソナルコンピュータ利用技術検定 2回

○日本語文書処理技能検定 2回

○ビジネスコンピューティング検定 1回

○キーボード操作技能検定 1回

(6) 音楽練習室・・・今年度利用なし

(7) 産学官共同研究専用施設（オープンラボ、サテライトオフィス等）

(8) 生涯学習専用施設（校舎5号館）

① 一部屋を茅野市情報プラザ（地域情報化のネットワークセンター）として平成14年9月29日より貸し出す。

② 講義のできる多目的ホールを平成14年9月29日より茅野市情報プラザに貸し出し、講習会、研修会、地域公民館活動としての情報化講座開催、企業における社員のIT研修等に利用。

③ ゼミ室（1）

茅野市情報プラザ運営委員会で利用

④ ゼミ室（2）（和室）・・・今年度利用なし

(9) スライド等機器の貸し出し・・・今年度利用なし

[平成20年度]

(1) 図書館

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 303件

(2) 体育館

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157件

(バレーボール、バスケットボール、空手)

(3) グラウンド

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86件

(サッカー、野球、ソフトボール)

(茅野市サッカー協会毎週水曜と金曜定期使用含む)

(4) テニスコート

一般市民の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11件

(5) 教室

検定試験への会場提供・・・・・・・・・・・・ 11件

○簿記検定 3回

○秘書検定 3回

○パーソナルコンピュータ利用技術検定 2回

○日本語文書処理技能検定 2回

○ビジネスコンピューティング検定 1回

(6) 音楽練習室・・・今年度利用なし

(7) 産学官共同研究専用施設 (オープンラボ、サテライトオフィス等)

(8) 生涯学習専用施設 (校舎5号館)

① 一部屋を茅野市情報プラザ (地域情報化のネットワークセンター) として平成14年9月29日より貸し出す。

② 講義のできる多目的ホールを平成14年9月29日より茅野市情報プラザに貸し出し、講習会、研修会、地域公民館活動としての情報化講座開催、企業における社員のIT研修等に利用。

③ ゼミ室 (1)

茅野市情報プラザ運営委員会で利用

④ ゼミ室 (2) (和室)・・・今年度利用なし

(9) スライド等機器の貸し出し

2. 地域連携事業

[平成19年度]

(1)「上川アダプトプログラム」

実施日：平成19年4月15日（日）、6月16日（土）、10月6日（土）

主 催：長野県

内 容：茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職ボランティアでミ拾いを実施

(2)「よみがえれ諏訪湖ふれあいまつり2003」

開催日：平成19年9月11日（日）

協 賛：本学

内 容：機械・奈良教授及び「ホビー部」が簡単な科学実験でブース参加

(3)「第26回茅野市こどもまつり」

開催日：平成19年6月5日（日）

主催：茅野市こどもまつり実行委員会

内 容：本学学生サークル「ホビー部」が簡単な科学実験でブース参加

[平成20年度]

(1)「上川アダプトプログラム」

実施日：平成20年4月13日（日）、10月11日（土）

主 催：長野県

内 容：茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職ボランティアでミ拾いを実施

(2)「第27回茅野市こどもまつり」

開催日：平成20年6月4日（日）

主 催：茅野市こどもまつり実行委員会

内 容：学生サークル「ホビー部」が、簡単な工作や科学実験でブース参加。

諏訪東京理科大学研究交流委員会規程

(設置)

第1条 学校法人東京理科大学業務規程(平成13年規程第6号)第30条の規定に基づき、諏訪東京理科大学(以下「本学」という。)の学長(以下「学長」という。)の諮問委員会として、本学に諏訪東京理科大学研究交流委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 産学官連携事業に関する事項
- (2) 共同研究施設の利用に関する事項
- (3) その他研究交流に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織し、委員は学長が委嘱する。

- (1) 学長
 - (2) 本学の学部長
 - (3) 本学の各学科から選出された専任の教授 各1人
 - (4) 学長が指名する専任の教授 1人
 - (5) 諏訪東京理科大学事務部長
- 2 委員会は、学長が招集し、その議長となる。ただし、議長に事故のあるときは、議長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 3 議長が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員の任期)

第4条 前条第1項第3号及び第4号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

第5条 特定事項について調査研究を行うため、必要に応じ専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会委員は、本学の教育職員のうちから学長が委嘱する。

(細則)

第6条 この規程の施行に関し必要な細則は、委員会が定める。

(事務処理)

第7条 委員会に関する事務は、諏訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附 則

- 1 この規程は、平成15年1月20日から施行し、平成14年10月1日から適用する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、第3条第1項第3号及び第4号に規定する当初の委員の任期は、平成15年9月30日までとする。

諏訪東京理科大学研究交流委員会委員名簿

所 属		職 名	氏 名
システム工学部	電子システム工学科	教 授	松 江 英 明
		講 師	平 田 幸 広
	機械システムデザイン工学科	教 授	※ 西 山 勝 廣
		教 授	河 村 洋
		准教授	星 野 祐
経営情報学部	経営情報学科	教 授	田 中 佑子
		講 師	平 尾 毅
事 務 部		事務部長	新 井 伊佐男

※委員長を示す

諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会会則

(設 置)

第1条 産学公の連携によって、諏訪地域(岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村をいう。以下同じ。)における学術と技術の交流・向上を図るため、諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 協議会は、公の支援のもと、諏訪東京理科大学を核として、諏訪地域にある企業のニーズに基づく産学共同研究開発、業種間の交流による地域産業の振興、情報化の促進等に資することを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 産学公連携に関わる情報交換・交流に関する事
- (2) 技術開発・特許等にかかわる相談に関する事
- (3) 関係機関間における連携ネットワークの構築に関する事
- (4) 研究成果公開フォーラム等の開催に関する事
- (5) プロジェクト等の設置に関する事
- (6) その他協議会運営のために必要と認める事業

(会 員)

第4条 協議会は、諏訪東京理科大学及び次の各号に掲げる会員登録を行った者により構成する。

- (1) 企業会員 諏訪地域に本社、工場、研究所等を有する企業で協議会の目的に賛同する者
- (2) 賛助会員 諏訪地域にある地方公共団体、公社、財団等で、協議会の目的に賛同し、その事業遂行のために援助する者

2 会員登録を希望する者は、事務局に書面により申込を行うものとする。

3 協議会は、会員に対し主催する事業等の案内を行うものとする。

(役 員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1)理事長 (2)副理事長 3人 (3)会計監事 2人 (4)理事 40人以内
- 2 理事長、副理事長、会計監事は、理事の互選により選出する。
- 3 協議会に、必要に応じ、顧問を置くことができる。

(役員の仕事)

第6条 理事長は、協議会を代表し、会務を総理するとともに、理事会の議長となる。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはあらかじめ指名された副理事長がその職務を代行する。

3 会計監事は、会計の監査にあたる。

(任 期)

第7条 理事の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。

2 理事に欠員が生じた場合の後任理事の任期は、前任理事の残任期間とする。

(報 酬)

第8条 役員は、無報酬とする。

(会 議)

第9条 協議会に理事会を置き、次に掲げる事項を協議、決定する。

- (1) 事業計画及び収支予算に関する事項
- (2) 事業報告、収支決算及び会計監査に関する事項
- (3) 理事の選任に関する事項
- (4) 理事長、副理事長、会計監事の選任に関する事項
- (5) 会則等の改正に関する事項
- (6) 協議会の運営に関する事項
- (7) その他理事会が必要と認める事項

2 理事会は、必要に応じて理事長が招集する。

3 理事会の議事は、出席理事の過半数の同意をもって決定し、可否同数の時は理事長の決定するところとする。

4 理事長は、必要に応じて理事以外の者の出席を求め、意見、説明又は講義等を聴くことができる。

(会 費)

第10条 協議会は、必要に応じ、会費を徴収することができるものとする。

(経 費)

第11条 協議会の経費は、次に掲げる収入をもってこれに充てる。

(1)会費 (2)負担金・補助金 (3)その他の収入

(事業年度)

第12条 協議会の事業年度は、毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。ただし、平成15年度の事業年度は、協議会設立の日から平成16年3月31日までとする。

(事務局)

第13条 協議会の庶務等に係わる事務を行うため、茅野市経済部工業労政課(茅野市塚原二丁目6番1号)に事務局を置く。

2 事務局に、事務局長のほか必要な職員を置く。

3 事務局長は、茅野市経済部 工業労政課長をもって充て、事務局次長は、諏訪東京理科大学庶務課長及び茅野商工会議所事務局長をもって充てる。

4 事務局員は、茅野市経済部工業労政課、諏訪東京理科大学庶務課、茅野商工会議所の職員を充てる。

附則

この会則は、平成15年7月28日より施行するものとする。

諏訪東京理科大学共同研究施設

1. 施設概要

[場 所] 7号館1階: 1518.07㎡

① オープンラボ・・・・・・・・・・180㎡ (耐荷重: 500kg/㎡)

OAフロア

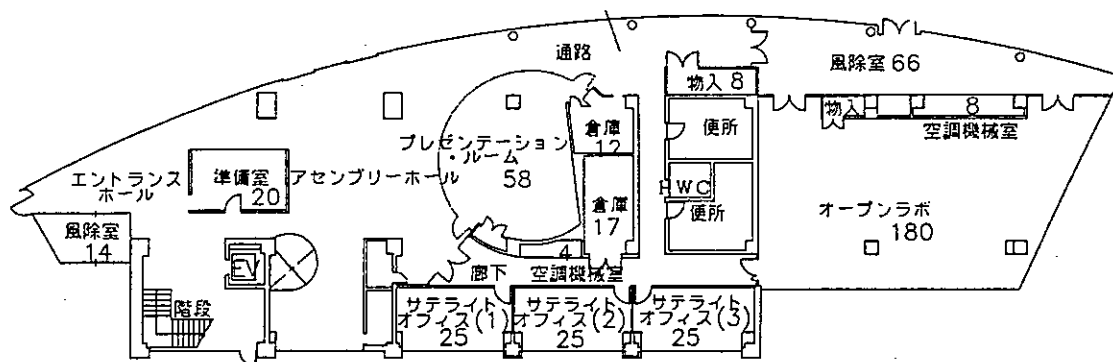
② サテライト・オフィス・・・・・・・・25㎡×3室

机・書棚 (1室3人対応)

① プレゼンテーション・ルーム・・・・・・・・58㎡

AV設備 (プロジェクター、マイク)

[平面図]



2. 受託研究・共同研究・研究助成受入れ状況 (長野県内企業分)

	共同研究		受託研究		研究助成	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成19年度	2	2,600,000	2	1,500,000	3	2,600,000
平成20年度	2	1,950,000	0	0	1	50,000

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成19年度]

行 事	内 容
「諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会総会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成19年7月31日(火) 内 容:産学公の連携によって、諏訪地域における学術と技術の 交流・向上をはかることを目的に平成14年に設置。 平成19年度事業案の承認,平成19年度予算の承認等 基調講演:「実りある産学連携を目指して」 講 師:諏訪東京理科大学産学官連携コーディネーター 荻野 修邦
「マネジメント塾」 ”7回のテーマで実施” 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	第1回「経営管理」 講 師:経営情報学科 平田譲二教授 日 時:平成19年9月11日(火) 18:00～20:00 第2回「企業経営と技術革新」 講 師:経営情報学科 古館信生教授 日 時:平成19年10月9日(火) 18:00～20:00 第3回「ブロードバンド時代の通信と放送の融合」 講 師:経営情報学科 七松 敏教授 日 時:平成19年11月13日(火) 18:00～20:00 第4回「従業員のやる気を考える経営者に」 講 師:経営情報学科 田中佑子教授 日 時:平成19年12月4日(火) 18:00～20:00 第5回「製品開発マネジメント」 講 師:片岡 寛学長 日 時:平成20年1月15日(火) 18:00～20:00 第6回「中小企業の財務戦略」 講 師:経営情報学科 伊藤忠治准教授 日 時:平成20年2月5日(火) 18:00～20:00 第7回「市場戦略」 講 師:経営情報学科 山腰光樹教授 日 時:平成20年3月4日(火) 18:00～20:00
「環境フォーラム」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	第1回「環境問題に取り組む」 講 師:谷研究室、奈良研究室、古館研究室 日 時:平成19年10月10日(水) 18:00～20:00 第2回「環境意識を高めよう」 講 師:経営情報学科 古館信生教授 日 時:平成19年10月9日(火) 18:00～20:00
「産学交流ネットワーク2007」 主催:長野県テクノ財団	日 時:平成19年8月27日(月) 13:00～17:30 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:本学、信州大学、山梨大学、松本歯科大学、長野高専の研究者から 企業と連携した実用化技術開発を希望する技術シーズをプレゼンテー ションするとともに、各大学等の産学連携制度等について紹介。 発表者:①「ヒューマンファクタを考慮したe-Learningシステムデザイン～高齢者の事例～」 (経営情報学科 広瀬啓雄准教授)

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成19年度]

行 事	内 容
	②「単層カーボンナノホーンの物性と展望」 (機械システムデザイン工学科 内海重宣助教) ③「製品開発とヒトの計測に関する研究」 (電子システム工学科 清水俊治准教授) ④「本学の産学連携体制について」 TLO・西山諏訪センター長
「次代の経営を担う人材育成研究会」 主催:長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センター	「製品開発戦略」・「後継者問題」・「財務戦略」の3コースを設け、講師と参加者の議論を通して問題を解決するとともに、マネジメント能力の向上を図ります。企業の経営者および管理職クラスの方々を中心に参加をしていただいている。 開催回数:年10回 会場:本学 第2会議室/テクノプラザ岡谷13:30～17:00 平成19年5月28日 講演(講師:片岡学長) 平成19年6月13日 製品開発戦略①(講師:経営情報学科 平尾毅講師) 平成19年7月11日 製品開発戦略②(講師:経営情報学科 平尾毅講師) 平成19年8月8日 製品開発戦略③(講師:経営情報学科 平尾毅講師) 平成19年9月12日 後継者問題①(講師:武蔵大学 古瀬公博氏) 平成19年10月10日 後継者問題②(講師:武蔵大学 古瀬公博氏) 平成19年11月14日 後継者問題③(講師:武蔵大学 古瀬公博氏) 平成19年12月12日 財務戦略①(講師:経営情報学科 林幸治助教) 平成20年1月9日 財務戦略②(講師:経営情報学科 林幸治助教) 平成20年2月13日 財務戦略③(講師:経営情報学科 林幸治助教)
「最新の環境技術とビジネス研究会」 主催:長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センター	地球環境保全は企業戦略上の重要な役割を担うとされている。このような時代にあって経営者は、環境問題にコミットできる戦略の構築、或いは環境配慮型の技術開発及び環境ビジネスを積極的に展開する事によりブレークスルーを見出すことができる。今回の研究会では講義と共に講師と参加者の議論を通して独自技術を活かした環境ビジネスの創造に繋げたい。 開催回数:年6回 会場:本学 第2会議室13:30～17:00 平成19年8月1日 環境で拓く(講師:機械システムデザイン工学科 奈良松範教授) 平成19年9月5日 環境ビジネス(講師:経営情報学科 阪本将英講師) 平成19年10月3日 環境と材料(講師:機械システムデザイン工学科 竹増光家教授) 平成19年11月7日 環境と国際化(講師:共通教育センター 篠原菊紀教授) 平成19年12月5日 環境とエネルギー(講師:電子システム工学科 谷辰夫教授) 平成20年1月16日 パネルディスカッション(阪本、谷、奈良、古舘各教員)
「諏訪圏産学リエゾンフェア」 主催:長野県テクノ財団/ 中央自動車道沿線地域産業クラスター推進協議会	日 時:平成20年3月6日(木) 13:00～17:30 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:本学、信州大学、山梨大学から大学の技術シーズを紹介すると共に大学と企業の研究者・技術者がより深い交流できることを目指している。 発表者:①「MOCVD法による薄膜作製」 (電子システム工学科 王谷洋平助教) ②「新しい予測法を用いた高音質な雑音抑圧法」 (電子システム工学科 田邊 造助教) ③「各種重要機械要素の精密転造加工」 (機械システムデザイン工学科 竹増光家教授) ④「CAEの有効利用と専用システム開発」 (機械システムデザイン工学科 和田義孝准教授)

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成19年度]

行 事	内 容
	⑤「顧客管理(CRM)システムの構築」 (経営情報学科 山腰光樹教授)
「諏訪圏工業メッセ2007」 主催:諏訪圏工業メッセ2007実行委員会	日 時:平成19年10月18日(木)～20日(土) 場 所:諏訪湖畔 諏訪湖イベントホール 学校関係:本学、信州大学、長野県工科短期大学校、岡谷工業高等学校 出展関係:電子システム工学科 平田陽一准教授 機械システムデザイン工学科 奈良松範教授 経営情報学科 阪本将英講師 共通教育センター 関塚正嗣准教授 出展関係(東京理科大学): 辻本研究室、井上研究室、武田研究室 特別講演:講師 共通教育センター 篠原菊紀教授 会場内プレゼンテーション:電子システム工学科 清水俊治准教授 機械システムデザイン工学科 須川修身教授 経営情報学科 平尾毅講師
「山梨テクノフェア&マルチメディア エキスポ」 主催:山梨県機械電子工業会	日 時:平成19年11月15日(木)～17日(土) 場 所:アイメッセ山梨(山梨県立産業展示交流館) 学校関係:本学、山梨大学、山梨県立産業技術短期大学校 山梨県高等学校教育研究会工業教育部会 出展関係:電子システム工学科 平田幸広講師 機械システムデザイン工学科 星野祐准教授

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成20年度]

行 事	内 容
「ハノーバー・メッセ2008」(ドイツ) 主催:ドイツ産業見本市株式会社	日 時:平成20年4月21日(月)～25日(金) 場 所:ドイツ・ハノーバー国際見本市会場 参加者:諏訪東京理科大学 西山勝廣教授、谷辰夫教授、星野祐准教授 平尾毅講師、内海重宜助教 学外参加者:会社21社、大学4校、ドイツ国内:大学1校、企業3社 他JETROデュッセルドルフセンター
「全国イノベーションコーディネータ フォーラム2008」 主催:独立行政法人科学技術振興機構 共催:山梨大学、信州大学、 諏訪東京理科大学、静岡大学	日 時:平成20年4月24日(木) 13:30～17:50 場 所:甲府富士屋ホテル 内 容:特別講演「国創りに結実する科学技術創造を目指して」 芝浦工大学長 事例紹介「コーディネート活動の成功・失敗事例紹介」 パネルディスカッション「地域活性化に向けたコーディネート活動について」
「諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会総会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成20年7月30日(水) 内 容:産学公の連携によって、諏訪地域における学術と技術の 交流・向上をはかることを目的に平成14年に設置。 平成20年度事業案の承認,平成20年度予算の承認等 基調講演:「技能五輪にみる ーものづくり文化ー」 講 師:諏訪東京理科大学 客員教授 西澤 紘一
「諏訪ものづくりフォーラム」 主催:諏訪東京理科大学科学技術交流センター	日 時:平成20年8月1日(金) 13:30～16:00 場 所:諏訪東京理科大学 内 容:「国際技能五輪に見る我が国のものづくりー技能こそ日本の競争力の源泉ー」 西澤紘一氏(諏訪東京理科大学客員教授) 特別講演「ゼロからの出発ー会社は誰のものか?ー」 森戸祐幸氏(㈱モリテックス前代表取締役)
「信州産学官連携機構 設立記念シンポジウム」 主催:信州産学官連携機構 (諏訪東京理科大参画)	日 時:平成20年8月7日(木) 13:30～19:00 場 所:ホテルメトロポリタン長野 参加者:西山勝廣教授(学長代理) 内 容:関係19機関が参加。機構立ち上げの発表が行われた。 * 文部科学省産学官連携戦略展開事業採択事業
「技術文化講座」 ”3回のテーマで実施” 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	第1回「技術文化講座」 講 師:片岡 寛学長 日 時:平成20年11月11日(火) 18:00～20:00 場 所:第1会議室 第2回「超硬質材料の現状と未来」 講 師:機械システムデザイン工学科 西山 勝廣教授 日 時:平成20年11月18日(火) 18:00～20:00 場 所:第1会議室 第3回「情報通信に関する技術およびビジネス動向について」 講 師:電子システム工学科 松江 英明教授 日 時:平成20年11月25日(火) 18:00～20:00 場 所:第1会議室

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成20年度]

行 事	内 容
「ものづくり道場」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	第1回、第2回 講 師:本学教員、榑伸和工作 宮沢秀明 日 時:平成20年11月2日(日) 10:00～12:00 13:00～16:00
「産学交流ネットワーク2008」 主催:長野県テクノ財団	日 時:平成20年9月8日(月) 13:00～17:30 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:本学、信州大学、山梨大学、松本歯科大学、長野高専の研究者から 企業と連携した実用化技術開発を希望する技術シーズをプレゼンテー ションするとともに、各大学等の産学連携制度等について紹介。 発表者:①「光合成促進機能等をも持つ農業用ネットの開発」 (電子システム工学科 谷 辰夫教授) ②材料の設計・テーラリング・応用開発 (機械システムデザイン工学科 西山 勝廣教授) ③「自然環境シミュレーション」 (機械システムデザイン工学科 和田孝義准教授)
「技術経営カレッジ」(エグゼクティブコース) 主催:長野県テクノ財団	第1回 テーマ「人材の育成と技術継承」 講 師:片岡 寛学長 日 時:平成20年8月8日(金) 場 所:RAKO華乃井ホテル 第2回 「技術開発」 講 師:片岡 寛学長、経営情報学科 平尾 毅講師 日 時:平成20年8月25日(月) 場 所:RAKO華乃井ホテル 第3回 「技術リーダーの育成」 講 師:片岡 寛学長、経営情報学科 古館信生教授 日 時:平成20年9月19日(金) 場 所:RAKO華乃井ホテル
「マイクロチップ研究会」 主催:長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センター	「最新の環境技術とビジネス研究会」を発展させ、今年度はマイクロ免疫セン サーの研究開発及び試作を手がける「マイクロチップ研究会」を立ち上げた。 講師:奈良松範教授 開催回数:年10回 参画企業:諏訪企業(6社) 会場:本学(会議室)13:00～17:00
「次代の経営を担う人材育成研究会」 主催:長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センター	中小企業にとっては、次代の経営を担うマネジメント能力の優れた人材育成が不 可欠である。研究会では講義と共に、講師と参加者の議論を通して問題解決を 図る実践型のマネジメント能力向上研修とする。 講師:片岡寛学長、田中佑子教授、平尾毅講師、林幸治助教 開催回数:年10回 会場:本学(会議室)13:30～17:00

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成20年度]

行 事	内 容
「諏訪圏工業メッセ2008」プレイベント 「紙ヒコーキ教室」 主催:諏訪圏工業メッセ2008実行委員会	日 時:平成20年9月23日(火)祝日 場 所:諏訪東京理科大学 対 象:小学生以上と保護者 講 師:元紙飛行機日本チャンピオン・工学博士 丹波 純氏
「諏訪圏工業メッセ2008」 主催:諏訪圏工業メッセ2008実行委員会	日 時:平成20年10月16日(木)～18日(土) 場 所:諏訪湖畔 諏訪湖イベントホール 出展者:諏訪東京理科大学 河村研究室、谷研究室、星野研究室、 伊藤研究室、成松研究室 東京理科大学 鈴木研究室、千葉研研究室 山口東京理科大学 稲垣研究室 プレゼンテーション:王谷洋平講師 学校関係:信州大学、長野県工科短期大学校、岡谷工業高等学校 他
「山梨テクノフェア&マルチメディア エキスポ」 主催:山梨県機械電子工業会	日 時:平成20年11月20日(木)～22日(土) 場 所:アイメッセ山梨 出展者:諏訪東京理科大学 須川研究室 学校関係:山梨大学、山梨県立産業技術短期大学校 山梨県高等学校教育研究会工業教育部会
「彩の国ビジネスアリーナ2009」 (東京理科大学TLOより参加依頼) 主催:財団法人 埼玉県中小企業振興公社	日 時:平成21年1月27日(火)～28日(水) 場 所:さいたまスーパーアリーナ 出展者:諏訪東京理科大学 大島研究室 学校関係:東京理科大学、筑波大学、首都大学東京、中央大学 他
「ものづくりフェア2009」 主催:テクノプラザおかや	日 時:平成21年2月13日(土)～14日(日) 場 所:テクノプラザおかや 出展者:諏訪東京理科大学 清水研究室 学校関係:信州大学、山梨大学、芝浦工業大学 他
「諏訪圏産学リエゾンフェア」 主催:財団法人長野県テクノ財団/ 中央自動車道沿線地域産業 クラスター推進協議会	日 時:平成21年3月6日(木) 場 所:RAKO花乃井ホテル 出展者:天野教授、石井教授、伊藤教授、板橋准教授、広瀬准教授、 星野准教授、大田助教 学校関係:信州大学、山梨大学 他

参考資料（掲載は省略いたします。）

- 1 諏訪東京理科大学大学案内
- 2 平成19, 20年度「出前授業」講座一覧
- 3 諏訪東京理科大学ゼミナール 2007, 2008
- 4 諏訪東京理科大学地域貢献報告書（2005—2006年度版）